

# 名古屋芸術大学・大学院 後援会報

第57号 2014年9月30日発行

## CONTENTS

1	目次 後援会へのお誘い(委員募集)	31	ブライトン大学訪問記
2	ごあいさつ	32	International Student Information せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画	33	クラブ・同好会紹介
4	新役員・委員一覧	35	親の想い
5	2013年度 後援会決算報告	36	子の想い
7	2014年度 後援会予算書	37	2014年度 入学式
9	名古屋芸術大学近況報告	38	音楽学部主催による演奏会のご案内
19	学生部報告	39	トピックス ピックアップ
20	2014年度 学生数 大学へのお問合せ先一覧	41	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
21	2014年度 行事予定	42	大学運営組織図
24	就職セミナーのご紹介	43	後援会学費貸付事業のご紹介
27	各学部進路状況	44	名古屋芸術大学・大学院後援会会則
29	先輩の活躍	45	学校法人名古屋自由学院決算報告
		46	木祖セミナーハウスのご紹介 編集後記

### 後援会へのお誘い(委員募集)

日頃から後援会へのご理解、ご協力ありがとうございます。

皆様から頂いている後援会費は、公開講座等の補助、また芸大祭やクラブ活動の補助、学生自治会、国際交流、謝恩会補助や就職活動補助など様々な活動の補助として役立てられています。

また私ども役員も自分の子供だけでなく同じ親として、子供たちに関わることができ、とても幸せです。

委員といっても常にかかわっているわけではなく、年に4回程度の委員会などがありますが、大変なことは一切無く、皆さんとの交流など楽しいことばかりです。

学校に行く楽しみもあります、何十年も前の学生生活を懐かしみつつ、子供の生活を身近に感じ、また学長先生から直接学校の方針を聞いたり学校に出向かないとわからないこともあります。

まずは定期総会に出て学校の方針や担当の先生から直接子供の様子を聞き、学内を見学してみませんか？もちろん随時委員を募集しています。

【委員を募集しています】

お問い合わせは名古屋芸術大学事務局の川村幸義までご連絡してください。

電話：0568-24-0315（内線385番）

メールアドレス：kouenkai@nua.ac.jp

副会長 飯田康子



## ごあいさつ



後援会長  
平井 友明

保護者の皆様には、日頃から後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る5月18日に開催されました後援会定期総会において会長に選任されました平井友明と申します。至らない点も多いかと思いますが、役員、委員の方々と共に精一杯務めさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

名古屋芸術大学では、来年度新たなコースとして、音楽学部エンターテインメントディレクションコースが誕生します。

保護者の皆様で構成する後援会と致しましても、名古屋芸術大学のさらなる発展を祈念し、協力していきたいと考えております。

今年度は委員の人数が不足しております。

共に後援会活動をしていただける方がみえましたら、ご協力をお願い致します。



学長  
竹本 義明

昨年、大学改革について全学的に改革方針を取りまとめ、今年度は具体的に行動して実施することになっています。改革は、教学組織改革分科会、事務組織改革分科会、そして滝子キャンパス間等連携強化分科会の三つの分科会を設けそれぞれ審議を尽くし方針をまとめました。

大学改革は、入学生減による経営状況の悪化により、大学運営の将来への見通しが不透明となり、大学改革の必要性が高まるなか、教学による芸大改革推進本部の取り組み及び法人の財務基盤整備10ヶ年計画の策定によ

り、人材育成による社会の期待に応え、使命を果たすこととなっています。

教学においては、具体的に三つの方針「分野横断型教育プログラムの推進」「社会のニーズに応える就業力の育成」「学生就学意識とジェネリックスキルの実現」を掲げ、学部の「新たな融合と再編」による教育の質の向上と基盤強化、学部連携による大学運営の効率化と経営基盤の安定、PDCAサイクルの確実な実行による組織活性化と社会貢献の推進の実現を目指しています。

芸大では、数年にわたる定員未充足学部の定員削減の数値及び方法の検討を行い、定員削減の届出を行ないました。音楽学部では、定員充足率を改善するだけでなく、新たに新コース（エンターテインメントディレクションコース）を設置し、広報活動を行なっています。全学では3ポリシーを再定義し、カリキュラムの再編を検討することで、社会に役立つ国際的に活躍できる人材育成により、キャリア教育に積極的に取り組み社会貢献、地域貢献を果たすことで大学が発展することを目指しています。

後援会の皆様にも本改革についてご理解、ご協力をお願いいたします。

## 2014年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 定期総会

2014年5月18日(日) 13:00より、西キャンパスB棟講義室において、「2014年度名古屋芸術大学・大学院後援会定期総会」が開催されました。

### 2013年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
5月19日(日)	2013年度後援会定期総会事前打合せ 2013年度後援会定期総会	東キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
5月29日(休) ～6月1日(土)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会副会長他大学関係者参加	イギリス ブライトン大学
6月上旬	後援会より補助金一括交付	
6月22日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月20日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス 1号館
9月30日(月)	後援会報第55号発行	
10月19日(土) ～20日(日)	後援会研修旅行 1泊2日(琴平温泉) 30名参加	
10月26日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月18日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月15日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
2月21日(金)	ブライトン大学賞表彰式(会長)	名古屋東急 ホテル
3月20日(休)	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	日本特殊陶業 市民会館
3月20日(休)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	名古屋マリオット アソシアホテル 他
3月31日(月)	後援会報第56号発行	
4月1日(火)	入学式参列(2013年度会長)	西キャンパス
4月19日(土)	2013年度会計監査(2013年度監査2名)	東キャンパス
4月19日(土)	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、公開講座補助、就職活動補助、国際交流補助、施設・設備補助、授業料貸付事業等を行いました。	

### 2014年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
5月18日(日)	2014年度後援会定期総会事前打合せ 2014年度後援会定期総会	西キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月5日(休) ～8日(日)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月上旬	後援会より補助金一括交付	
6月21日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月19日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月30日(火)	後援会報第57号発行	
10月18日(土) ～19日(日)	後援会研修旅行 1泊2日	
10月25日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振 後期分	
1月17日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月14日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
2月20日(金)	ブライトン大学賞表彰式(会長)	名古屋東急 ホテル(予定)
3月20日(金)	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	日本特殊陶業 市民会館
3月20日(金)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	名古屋マリオット アソシアホテル (予定)
3月31日(火)	後援会報第58号発行	
4月上旬	入学式参列 (2014年度会長・副会長《総務委員長》)	西キャンパス
4月中旬	2014年度会計監査(2014年度監査2名)	東キャンパス
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業、授業料貸付事業等を行う予定です。	

## ■2014年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名
1	会 長	平井 友明
2	副 会 長 (総務委員長)	飯田 康子
3	副 会 長 (事業委員長)	望月 弘子
4	副 会 長 (広報委員長)	安藤 邦恵
5	副会長(会計)	岩尾 弥生
6	会 計 監 査	真野久美子
7	会 計 監 査	木村 充代
8	書 記	渡辺 朝子
9	書 記	余語めぐみ
10	会 計	山田 貢
11	監 事	萩 達也

通番	役職名	氏名
12	総務副委員長	服部 政光
13	総務委員	水谷 保之
14	事業副委員長	角谷 一彦
15	事業委員	今井 良美
16	事業委員	長尾 啓史
17	広報副委員長	日比野弘嗣
18	広報委員長	早坂 道子
19	広報委員長	佐藤 耕太



全議題は賛成多数で承認されました。最後に退任された役員に対して、大学から感謝状が贈呈されました。長年にわたって本当にありがとうございました。



## ■2013年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

### 1. 一般会計

2013. 4. 1～2014. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	3,598,810	3,598,810	0	
会 費 収 入	25,592,000	25,292,000	300,000	
特別会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	
受 取 利 息	2,000	2,015	-15	
手数料他収入	20,000	24,920	-4,920	事業協賛金
合 計	31,212,810	30,917,745	295,065	

#### 支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	350,000	296,842	53,158	私学助成署名運動他
旅 費・交通費	250,000	184,650	65,350	
会 議 費	500,000	435,579	64,421	
事務費・用品費	150,000	115,731	34,269	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	10,000	90,000	
渉 外 費	500,000	375,000	125,000	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	750,000	769,104	-19,104	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,600,000</b>	<b>2,186,906</b>	<b>413,094</b>	
芸大祭補助	3,800,000	3,800,000	0	
クラブ補助	7,800,000	7,800,000	0	
就職活動補助	5,500,000	5,474,665	25,335	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	926,699	73,301	
公開講座補助 (東キャンパス)	2,000,000	1,734,101	265,899	
公開講座補助 (西キャンパス)	2,000,000	1,766,039	233,961	
施設・設備補助	1,000,000	983,020	16,980	
福祉事業補助	0	0	0	
学費貸付金資金振替	0	0	0	
特別積立金振替	500,000	500,000	0	
教員・役員研修費補助	800,000	658,919	141,081	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>26,000,000</b>	<b>25,243,443</b>	<b>756,557</b>	
広 報 活 動	1,200,000	1,121,452	78,548	後援会報55号/56号
広 報 誌 郵 送 料	500,000	366,721	133,279	
広 報 誌 手 数 料	50,000	0	50,000	
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,750,000</b>	<b>1,488,173</b>	<b>261,827</b>	
予 備 費	862,810	60,375	802,435	奨学金返還請求分 弁護士
次年度繰越	0	1,938,848	-1,938,848	
総 合 計	31,212,810	30,917,745	295,065	

## 2. 特別会計決算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	1,000,121	1,000,121	0	
2	一般会計より資金繰入	500,000	500,000	0	
3	雑 収 入	150	200	-50	
4	合 計	1,500,271	1,500,321	-50	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
5	特別積立金事業計画	0	0	0	
6	事業計画積立金	0	0	0	
7	次年度繰越金	1,500,271	1,500,321	-50	
8	合 計	1,500,271	1,500,321	-50	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
9	前年度繰越金	11,921,311	11,921,311	0	
10	一般会計より資金繰入	0	0	0	
11	特別会計より資金繰入	0	0	0	
12	学生貸付金返済金	3,500,000	5,083,250	-1,583,250	
13	雑 収 入	2,000	1,924	76	利息
14	合 計	15,423,311	17,006,485	-1,583,174	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
15	学 生 貸 付 金	10,000,000	2,646,340	7,353,660	
16	一般会計へ資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
17	予 備 費	3,423,311	0	3,423,311	
18	次年度繰越	0	12,360,145	-12,360,145	
19	合 計	15,423,311	17,006,485	-1,583,174	

### (3) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
20	前年度繰越金	2,133,147	2,133,147	0	
21	雑 収 入	1,000	340	660	
22	合 計	2,134,147	2,133,487	660	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
23	講演会、パンフレット作成	350,000	0	350,000	
24	次年度繰越金	1,784,147	2,133,487	-349,340	
25	合 計	2,134,147	2,133,487	660	

## ■2014年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 予算書

### 1. 一般会計

2014. 4. 1～2015. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	2014年度 予 算	2013年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,938,848	3,598,810	-1,659,962	
会 費 収 入	24,784,000	25,592,000	-808,000	
特別会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	2,000	0	普通預金
手数料他収入	20,000	20,000	0	事業協賛金
<b>合 計</b>	<b>28,744,848</b>	<b>31,212,810</b>	<b>-2,467,962</b>	

#### 支出の部

	2014年度 予 算	2013年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	350,000	350,000	0	
旅 費・交 通 費	250,000	250,000	0	
会 議 費	500,000	500,000	0	
事務費・用品費	150,000	150,000	0	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	500,000	500,000	0	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	800,000	750,000	50,000	担当派遣職員
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,650,000</b>	<b>2,600,000</b>	<b>50,000</b>	
芸大祭補助	3,500,000	3,800,000	-300,000	
クラブ補助	7,500,000	7,800,000	-300,000	
就職活動補助	5,500,000	5,500,000	0	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	1,000,000	0	
公開講座補助	4,000,000	4,000,000	0	
施設・設備補助	0	1,000,000	-1,000,000	
福祉事業補助	0	0	0	
学費貸付金資金振替	0	0	0	
特別積立金振替	0	500,000	-500,000	特別積立金口
教員・役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>23,900,000</b>	<b>26,000,000</b>	<b>-2,100,000</b>	
広 報 活 動	1,200,000	1,200,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	500,000	0	
広報誌手数料	50,000	50,000	0	アルバイト代
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,750,000</b>	<b>1,750,000</b>	<b>0</b>	
予 備 費	444,848	862,810	-417,962	
<b>総 合 計</b>	<b>28,744,848</b>	<b>31,212,810</b>	<b>-2,467,962</b>	

## 2. 特別会計予算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2014年度 予算	2013年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	1,500,321	1,000,121	500,200	
2	一般会計より資金繰入	0	500,000	-500,000	
3	雑 収 入	200	150	50	
4	合 計	1,500,521	1,500,271	250	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2014年度 予算	2013年度 予算	差 異	備 考
5	特別積立金事業計画	0	0	0	
6	事業計画積立金	0	0	0	
7	次年度繰越金	1,500,321	1,500,271	50	
8	合 計	1,500,321	1,500,271	50	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2014年度 予算	2013年度 予算	差 異	備 考
9	前年度繰越金	12,360,145	11,921,311	438,834	
10	一般会計より資金繰入	0	0	0	
11	特別会計より資金繰入	0	0	0	
12	学生貸付金返済金	3,500,000	3,500,000	0	
13	雑 収 入	2,000	2,000	0	
14	合 計	15,862,145	15,423,311	438,834	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2014年度 予算	2013年度 予算	差 異	備 考
15	学 生 貸 付 金	10,000,000	10,000,000	0	
16	一般会計へ資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
17	予 備 費	3,862,145	3,423,311	438,834	
18	合 計	15,862,145	15,423,311	438,834	

### (3) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2014年度 予算	2013年度 予算	差 異	備 考
19	前年度繰越金	2,133,487	2,133,147	340	
20	雑 収 入	500	1,000	-500	
21	合 計	2,133,987	2,134,147	-160	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2014年度 予算	2013年度 予算	差 異	備 考
22	講演会、パンフレット作成	350,000	350,000	0	
23	次年度繰越金	1,783,987	1,784,147	-160	
24	合 計	2,133,987	2,134,147	-160	

# 名古屋芸術大学近況報告

## 音楽学部

### 《演奏学科》

#### 声楽コース

声楽コースでは、2014年12月4日(木)に、弦管打コースと協力して、ベートーヴェンの交響曲第九番(合唱付き)を、本学院の60周年記念事業の一環として日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)で開催します。この公演の声楽部門には、本学の卒業生の中から、海外でも活躍している声楽家をソリストとして招聘し、合唱には本学の在学学生のみならず、卒業生、教職員等の協力を得て「オール名芸」の体制で臨みます。

もう一つ合唱に関することですが、今年の8月29日(金)に愛知県芸術劇場コンサートホールで行なわれる愛知県少年少女合唱連盟第18回合唱フェスティバルに特別ゲストとして本学声楽コースの学生たちが出演します。

また、本年度のオペラ公演は、木下牧子の話題作「不思議の国のアリス」を上演予定です。出演人数を多数必要とするこのオペラには在学学生、大学院生の協力を得て、4年生を中心に配役も決まり、澤脇教授の指導のもと練習に励んでいます。その他にも、学生達に舞台経験を積ませる為の演奏会として「歌曲の夕べ」等のコンサートを予定しています。

声楽コース 教授 土佐 誠

#### 弦管打コース

今年度の弦管打コースは、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団との共演が予定されております。

まずは10月30日(木)日本特殊陶業市民会館フォレストホールに於いて、マーティン・ブラビンス指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団と弦管打コース学生の共演で、チャイコフスキーの歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ワルツ」と「ポロネーズ」を演奏します。

年が変わり2015年3月15日(日)日本特殊陶業市民会館フォレストホールに於いて、田中祐子指揮セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団混成オーケストラとの共演で、ホルストの組曲「惑星」を演奏します。両方共学生にとっては、プロと共演・交流できるまたとないチャンスです。更なるスキルアップに繋がられる事を期待しています。

この他8月28日(木)電気文化会館にて第7回NUAストリングス演奏会、9月25日(木)日本特殊陶業市民

会館フォレストホールにてウィンドオーケストラ第33回定期演奏会、12月4日(木)日本特殊陶業市民会館フォレストホールにてオーケストラ第32回定期演奏会(今回はベートーヴェンの「第9」を演奏しますが、学院創立60周年記念の絡みもあり、ソリスト・演奏者・合唱に名芸現役学生、職員、卒業生が多数参加)12月16日(火)熱田文化小劇場にて第33回室内楽の夕べ、2015年2月14日(土)アンサンブル・フィルハーモニック・ア・ヴァン第16回定期演奏会(会場未定)を予定しております。お時間にご都合がございましたら、是非足をお運び下さい。

弦管打コース 准教授 依田嘉明

#### ピアノコース

毎年開催されている「パリ・エコール・ノルマル音楽院交換交流」。5月8日(木)、音楽院副校長 ジャン・ルイ・マンサール先生による「フランスピアノ作品の解説とレッスン」が3号館講堂ホールで行われました。ピアノコース三年 佐藤笙子さんが、ラヴェル「道化師の朝の歌」、四年 河原優那さんが、ドビュッシー版画より「グラナダの夕べ」を演奏、マンサール先生による公開レッスンが行われました。

6月26日(木)、昨年に続きアレクサンダー・セメツキー教授によるピアノコース公開講座「ムソルグスキー展覧会の絵」レクチャー part II が4号館多目的ホールで行われました。テーマの曲が大曲であるのと、先生の丁寧で内容豊富なレクチャーのため、前回途中までしか進めず、今回 part II の開講となりました。在学学生に加え一般の方も聴講され、終了後の質問もあり、好評でした。

今年度、ピアノコンチェルト オーディション課題曲は、モーツァルト：第27番 K.595、シューマン：イ短調 op.54。5月29日(木)に行われたオーディションで、モーツァルト 1楽章 中島 舞(2年)2・3楽章 深町奈緒(2年)、シューマン 1楽章 岩津由祐(卒業生)2・3楽章(内村 萌)の皆さんが選ばれ、7月5日(土)名古屋音楽学校ホールでの「電子オルガンとのコラボレーション コンサート」、7月17日(木)しらかわ本学客員教授 古谷誠一先生指揮による名古屋芸術大学オーケストラとの協演にそれぞれ出演しました。

7月に入り、リスト音楽院教授ファルヴァイ・シャンドール先生による1年生全員のレッスンと客員教授近藤嘉宏先生のレッスンが始まり、学生が熱心に受講しています。

強い台風11号の接近が心配される中、8月9日(土)第16回「ピアノサマーコンサート」が名古屋芸術大学3号館講堂ホールで開かれ、前期実技試験で選出された学生が演奏しました。大学近隣の方々も来聴され、大きな拍手をいただきました。この後、8月23日(土)・24日(日)・25日(月)「Y P F サマーフェスタ イン 名古屋芸大」が予定されています。

ピアノコース 教授 田中航造

#### 電子オルガンコース

いつも大変お世話になっております。電子オルガンコースは専科1~4年、院生、研究生、総合の単位8(専科予備群?)合わせて30名、教員は専任の私を含めて5名という人数で、極めて家族的な雰囲気です。学習しつつ活動しております。

本学の他コースと同様、学生らには学習して得たものを発表できる「演奏機会」を豊かに提供したいとの思いから、学内外でそれらの機会を模索し提供しております。学内に於きましては春のオープンキャンパス(6月14日)での恒例のプチコンサート(講堂)を行なった他、音楽マネジメントコースとのコラボ企画で、2号館ロビーのライブもさせていただき、より多くの来訪者に成果を見ていただくことができました。

そして、これも夏の恒例となりました電子オルガンコース主催のワークショップを開催し(7月13日)中部・東海・北陸3県を中心とした指導者や音教生(入学予備軍?)が多数いらして下さり、大盛況の内に無事終了となりました。今年、人気の高い富岡ヤサヤ氏をゲストにお招きできたことや、本学のジャズ・ポップスコースゆかりのプロを交えたアレンジ講座(ゲスト講師は編曲家の守屋純子先生)が有ったりしたのも盛況の大きな要因になったと思われまふ。名古屋音楽学校に於けるピアノ協奏曲のコンサート(7月5日)でのオーケストラパートの演奏も好評を博しました。指揮は本学の山田純教授でした。

外部に向けてはゴールデンウィーク恒例の名古屋駅前、『駅トピア祭り』でのパレードやステージにも絡みまふ。尾張一宮の七夕祭り(7月25日)に名芸電子のステージ・タイムを作っていただけだったので、有志学生を連れて演奏を聴いてもらってまいります。

12月11日の熱田文化小劇場に於いて催される定期演奏会『アースエコー』に向けて、コース一丸となって邁進していく所存です。どうぞよろしくお見守り下さい。

電子オルガンコース 准教授 鷹野雅史

## 《音楽文化創造学科》

### ミュージカルコース

ミュージカルコースの学生たちは、今年度も数多くのステージに立ちました。

3月のミュージカル公演では「ミステリアス・ディーバ」というオリジナル作品に挑みました。既にこの世にはいない幻の歌姫が周囲の人々を迷走させるという謎に満ちた作品でしたが、学生たちはそれぞれが工夫を凝らした演じ方でこの難解な作品に輝きを与えていました。

今年で四年目となるベストテンコンサートも北名古屋市、高山市で行われました。「祖父や祖母、両親の青春時代を彩った歌を歌おう」という趣旨のこのコンサートは毎年、好評を頂いており、アンケートには数多くのリクエスト曲が記入されています。その全てを演奏することは出来ませんが、プログラムにはなるべく多くのリクエストを反映させ、今では観客の皆様と一緒に作るコンサートとなっています。

そして、高山市の「飛騨・童話会議」。今回は、出演、演奏だけでなく、脚本も市民の方のアイデアを基に作られました。

「三年計画で完成度の高い市民ミュージカルを」というこの企画も既に第二シーズン目に入り、高山市民の皆様の間でも定着した感のあるイベントとなっています。幼稚園児から五十代までの参加者の皆様の実力も年々、向上し、学生たちにとっても刺激のある公演になっています。

今年も元気な1年生が入学して来まふ。この先も、年末の12月28日に「飛騨・童話会議Ⅱ」、新春の1月4日に北名古屋市でベストテンコンサート、3月12日にはミュージカル公演が予定されていますが、1年生の参加も予定されています。

こうした公演に、足をお運び頂けましたら幸いです。  
ミュージカルコース 教授 森泉博行

### ジャズ&ポップスコース

ジャズ&ポップスコースは、定期的にかれるロービーコンサートの他、学院広報室が窓口となっている地域自治体や民間の連携先からの依頼に応える形で演奏を行なっています。

今年度前期は、授業を通じての技術向上と理論修得に重点を置いたコース展開しており、担当教員から試験においてその成果が十分得られた、という評価がされています。

後期に向けて公開講座の実施、セッション授業を通じてのアンサンブル能力の向上を図り、地域社会で活躍出来ればと考えています。

ジャズ・ポップスコース 教授 竹本義明

### アートマネジメントコース

8月3日に、長久手市文化の家が主催する「おんぱく2014」が行われました。長久手市が文化庁の助成金を得て企画した文化芸術振興事業です。そして、この事業は名古屋芸術大学のアートマネジメントコースが共同事業

者として運営に参加した大学の行事でもあります。

半年前から、「アウトリーチ実習」の延長として、学生たちが企画に加わり授業の学んだことのすべてをつぎ込んできました。「おんぱく2014」は、子供たちに音楽を材料としたお祭りを提供することを意図したものです。全部で5つの行事からなり、長久手市の様々な場所で音楽の祭りを繰り広げ、その際の運営や企画を本学の学生たちが行ったわけです。アピタでの音楽会を開いたり、リノモを借り切ってその中で音楽やパフォーマンスを実施したり、熱い最中にもかかわらず、長久手市のアグリ村の広場に野外ステージをつくり、そこでゴスペルのグループの演奏のお世話をしたりと、長久手市の音楽祭りを賑やかにするためのあらゆる作業のお手伝いをしました。長久手市からも最大の評価と感謝を頂き、「ここに名芸のアートマネジメントあり」と、その存在感を示すことが出来たと思っています。同時に文科省がすすめる「アクティブラーニング」型学習活動を最大限に示す事例だと評価しています。

また今年度は、学生たちの活動の他に、アートマネジメントコースとして名古屋市文化振興事業団のアートマネジメント講座の運営を依頼され、その意味でも研究機関としての名古屋芸大の存在感を示すことができました。講座には本学の非常勤講師が講師として参加し、また講座の終了演奏会に名芸の卒業生が出演することになりました。大学が大学の中にこもることなく、学外で活動することはとても大事だと考えています。まさに大学による「社会貢献活動」を代表する活動だと思っています。

アートマネジメントコース 教授 山田 純

## 音楽教育コース

音楽教育コースには音楽の指導者（教員のみならず、さまざまな楽器の指導者）を目指す学生が多いため、3年前から指導法を学ぶ講義（音楽教育特論—専門科目）を行っています。オカリナや大正琴の講師、合唱指導者、ピアノ講師になるためにはどのような点に気をつければ良いのか。模擬授業や模擬指導を通して、学生たちは指導方法・内容はもとより、言葉遣いや態度など多くのことを学びます。最初は緊張し、人前で思うように話せない学生たちも、回数を重ねるにつれて指導者らしく落ち着いた態度で発言できるように成長してゆきます。後期には、和楽器指導や吹奏楽指導の授業を展開する予定です。

また、6月初旬より3週間、4年生が教育実習に出かけていましたが、本コースでは7月15日に、実習に行った4年生が各自の実習体験について語る会を開催しました。実習先の先生方に褒められたこと、失敗したこと、反省点などさまざまな話を聞くことができ、後輩たちにとってはとても参考になったと思われます。

9月初旬には1年生たちと犬山に出かけます。旅のテーマは「日本の音さがし」。犬山の城下町で、どのような日本の音に出会えるでしょう。

音楽教育コース 教授 金子敦子

## 音楽療法コース

4月に入学した新1年生は、最初こそ緊張した面持ちでしたが、すぐに上級生にも馴染んだ様子で、空き時間には始めたばかりのギターやカホンを使ってセッションする様子も見かけるようになりました。普段から演奏を楽しむ姿勢が、音楽療法を行うときの大切な土台の一部になると思います。今後も、このような自由な音楽活動を続けていってほしいものです。



一方、座学分野では、内科医であり音楽療法士でもある服部優子先生の授業を受けたり、子ども（障がい児）の音楽療法の基礎的理論を学んだり、ビデオ観察をしたりとこちらも一生懸命取り組んでいます。技術と理論両方を習得し、バランスのとれた音楽療法士に育ってくればと願っています。



学外活動では、これまでと変わらず、地域の児童・成人・高齢者施設で音楽療法実習を継続して行っています。2年から4年までの縦割りクラスで、セッションの計画と実施、その後の評価においても学生たちが積極的に協力しながら取り組む姿は大変頼もしいものです。7月には前期の締めくくりとして、高齢者施設において水戸黄門の寸劇とテーマ曲のピアノ演奏を行い、楽しんでいただきました。



現在は、9月に名古屋国際会議場において開催される第14回日本音楽療法学会のロビーコンサートに向けて、夏休み返上で練習に励んでいるところです。三味線、バンド演奏、トーンチャイム演奏を行う予定です。

音楽療法コース 准教授 伊藤孝子

#### サウンド・メディアコース

サウンド・メディアコースでは、作曲・録音・音響という、より具体的な表現方法と芸術を結びつける実践的な方法を正しく理解するために、実習を中心とした少人数による授業を展開しています。

本年度コースでは、通常授業と並行して以下の公開講座やイベントを予定しています。録音分野の公開講座として、2014年10月30日(木) 15:00より「これからの時代に求められる音楽制作と録音について」と題して、日本を代表する録音エンジニアの深田 晃氏に講演頂きます。

また、音響分野の公開講座として、2014年11月27日(木) 15:00より「これからの時代に求められる音響について」と題して、日本のPA黎明期からさまざまなコンサートの音響に携わる、ヒビノ株式会社技術顧問の宮本 幸氏に講演頂きます。また、2015年2月22日(日) 16:00より本学3号館ホールで、最先端のテクノロジーとヒューマンな発想を融合させた未来志向のアート空間の創造を目指し、毎年実施している演奏会「カレイドスコープ」を行います。

今回は26人編成の室内オーケストラ編成やさまざまな楽器を表現媒体とした、コース学生の作品の発表を行います。みなさまのご来場をお待ちしております。

サウンド・メディアコース 准教授 長江和哉

#### 作曲コース

作曲コースでは、作品を作る上でかかせないアカデミックな作曲理論と、それに裏打ちされた実際の作品作りを中心に学習していきます。そして、学生が作曲した作品は、学内の様々な演奏会で実際に演奏されるチャンスが与えられます。

昨年度は、例年開催される定期演奏会、さらには、サウンドメディアコースを中心に実施されます、最先端のテクノロジーを駆使した新しい音・音楽と映像のコラボレーションによるイベント「カレイドスコープ」に、学生達は積極的に作品を提供しました。また、本コースの慣例行事となりました、3月に実施されます「作曲コース試演会」では、個性の異なる様々な作品が、学内外の演奏者により演奏され、学生にとってはこれも貴重な体験となりました。

このように、本学の作曲コースでは、他大学と比較して作品の演奏される機会が多く、各学生の音楽的スキルを高めるために、恵まれた環境で学んでいるといえます。

作曲コース 教授 田中範康

## 《演奏学科・音楽文化創造学科》

#### 音楽総合コース

本年度の音楽総合コースには、演奏学科13名、文化創造学科32名、合計で45名もの新入生を迎えることができました。音楽学部全体の新入生の合計は、111名です。新入生の4割が音楽総合に属するわけです。これは、音楽総合コースが名古屋芸術大学の特色ある教育として社会的に認知されている結果だと思われます。

4月1日入学式の翌日には音楽総合コースの単位取得方法の説明会があり、夕方には学生相互の交流のために音楽総合コース在生によるコンサートが開催されました。従来は大学の外での合宿でしたが、今年は日程的な事情から学内で行うことになりました。その結果、合宿場所への移動時間を節約し、新入生への負担が減少したと思われます。また、在生による歓迎会は、心温まる雰囲気であり、新しい学習環境での勉学を励ますものでした。

その後、演奏学科の所属する学生たちは、5月の連休に高山市で新入生歓迎の合宿に参加し、教員さらに大学院生たちの演奏に接し、有意義な時間を過ごしました。文化創造学科の学生たちは、各コースの主催する新入生歓迎合宿に参加しました(夏休みの合宿もあります)。

入学して前期が過ぎ、試験も終了しました。9月には、前期試験の結果を踏まえて教員との面談があります。ここで、学生たちは単位履修及び学生生活についてのアドバイスを得ることができます。昨年度の面談では、学生たちはほぼ全体としてよく努力し、順調に単位を履修していることがわかりました。今年も、学生たちの努力の成果を確認できることを楽しみにしています。

音楽総合コース 教授 中河 豊

## 美術学部

ABLE & PARTNERS

TOKYO DESIGNERS WEEK 2014



TOKYO DESIGNERS WEEK 2014  
ASIA AWARDS 学校作品展

TOKYO DESIGNERS WEEK 2014 ASIA AWARDS 学校作品展

『名古屋芸術大学美術学部が初参加！』

「TOKYO DESIGNERS WEEK」は DESIGN、ART、MUSIC、FASHION の 4 本柱で実施する、会期10日間の来場者を12万人に見据えた国際的な CREATIVE fes です。

この企画イベントはデザインアソシエーションNPO（所在地：東京都港区南青山 理事長・川崎健二）が運営し、建築、インテリア、プロダクト、グラフィック、アートなど多岐に渡った分野の優れた生活デザインとアートを世界中から集めて、明治神宮外を会場に展示します。ここでは様々な企業、ブランド、学校、大使館、デザイナー、アーティスト、ミュージシャンが参加して過去最多となる20以上のコンテンツ展示やイベントを展開することになります。

この活動のメインコンテンツの一つに、総合クリエイティブ国際アワード TOKYO DESIGNERS WEEK「ASIA AWARDS」が計画されています。その中の「ASIA AWARDS 学校作品展」は、今回で2回目と歴史は浅いのですが、世界やアジアで躍動する若手クリエイター達のエネルギーを TOKYO に集めて TDW から世界へ拡大・発信していくことを目的としています。ノンジャンルと学校単位でデザイン・クリエイティブ力を競い合うのが特色で、特別に組織された審査委員が展示された国

内外の参加学校(作品ブース)の中から No.1 School を選出します。ここで選ばれたグランプリ作品が翌年のミラノサローネ「TOKYO DESIGNERS WEEK in MILANO 2015」で展示されます。他にも多くのコンテンツなどが用意され、飽きさせない様々な仕組みを作って参加者や来場者を迎えます。

『本展に向けて準備中！』

我が美術学部は「ASIA AWARDS 学校作品展」に参加するため、エントリーの表明をしました。今後は、コンセプトに添って学校作品展用の映像を製作したり、また、エントリーシート作成や学生出展作品の選出など、参加に必要な諸々の作業を行って本番に備える必要があります。今回で2回目となる「ASIA AWARDS 学校作品展」は、前回に引き続き海外からの参加校も交え、国際競争のなかでグランプリが選出されます。

次頁は TOKYO DESIGNERS WEEK 2014 についての詳細情報です。

■テーマ 「MY AVANT-GARDE」



□開催日程

会期 10月25日(土)～11月3日(月・祝) 10日間  
 時間 11:00 - 21:00 (最終日/ 20:00まで)  
 会場 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町2-3  
 明治神宮外苑絵画館前(中央会場)、都内サテライト会場  
 来場者数 12万人(予定)

□交通情報

最寄り駅  
 JR中央・総武線「信濃町駅」「千駄ヶ谷駅」  
 銀座線「外苑前駅」  
 銀座線・半蔵門線・大江戸線「青山一丁目駅」  
 大江戸線「国立競技場駅」

■昨年の様子



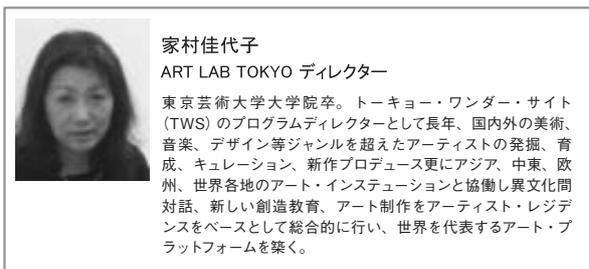
■ASIA AWARDS アート部門 審査委員長



今村有策 トーキョーワンダーサイト館長  
 国内外の若手クリエイターの人材育成、国際文化交流、そして領域横断で実験的なプロジェクトを推進するアートセンターTWSの館長。国際的な人脈を通して日本のみならず世界中で芸術文化のアドバイザーとして活躍している。2001年から12年間、東京都参与として東京都の新しい文化政策を推進した。

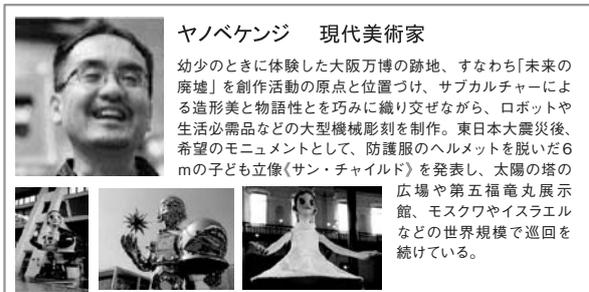
**tokyo wonder site**  
 Institute of Contemporary Art and International Cultural Exchange, Tokyo

■ASIA AWARDS アート部門 審査委員



家村佳代子  
 ART LAB TOKYO ディレクター

東京芸術大学大学院卒。トーキョー・ワンダー・サイト(TWS)のプログラムディレクターとして長年、国内外の美術、音楽、デザイン等ジャンルを超えたアーティストの発掘、育成、キュレーション、新作プロデュース更にアジア、中東、欧州、世界各地のアート・インステュションと協働し異文化間対話、新しい創造教育、アート制作をアーティスト・レジデンスをベースとして総合的に行い、世界を代表するアート・プラットフォームを築く。

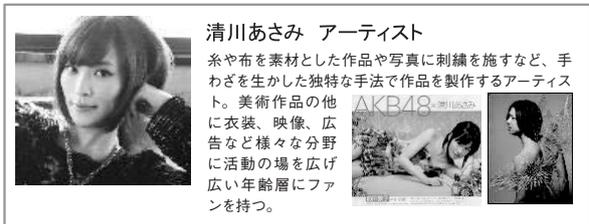


ヤノケンジ 現代美術家

幼少のときに体験した大阪万博の跡地、すなわち「未来の廃墟」を創作活動の原点と位置づけ、サブカルチャーによる造形美と物語性とを巧みに織り交ぜながら、ロボットや生活必需品などの大型機械彫刻を制作。東日本大震災後、希望のモニュメントとして、防護服のヘルメットを脱いだ6mの子ども立像(サン・チャイルド)を発表し、太陽の塔の



広場や第五福竜丸展示館、モスクワやイスラエルなどの世界規模で巡回を続けている。



清川あさみ アーティスト

糸や布を素材とした作品や写真に刺繍を施すなど、手わざを生かした独特な手法で作品を製作するアーティスト。美術作品の他にAKB48の衣装、映像、広告など様々な分野に活動の場を広げ広い年齢層にファンを持つ。



猪子寿之 チームラボ

2001年東京大学工学部計数工学科卒業と同時にチームラボ創業。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら、WEBからインスタレーション、ビデオアート、ロボットなど、メディアを超えて活躍中。



名和晃平 彫刻家

京都造形芸術大学准教授、2009年京都市伏見区に立ち上げたクリエイティブプラットフォーム「SANDWICH」ディレクター。ビーズ、プリズム、発泡ポリウレタン、シリコンオイルなど様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓けている。



## デザイン学部

2014年度、名古屋芸術大学（4学部4研究科）入学式が4月1日（火）に西キャンパスで行われました。桜が映える青空の日、開式前に本学ウィンドオーケストラにより、東京オリンピックファンファーレとオリンピックマーチが演奏されました。

開式後は、学長からの「入学許可」の宣言に続き式辞が述べられ、多くの保護者の方々も見守る中、次第に沿って進行しました。

式典終了後は、本学卒業で、書道家・アーティストとして活躍されている横山豊蘭氏による書道パフォーマンスが行われました。5m四方の大半紙に「感」の文字が書かれました。新入学生はじめ、会場の人々すべてに、「文字」からのイメージが広がったと思います。

その後、新入生歓迎演奏として、ヤン・ヴァン・デル・ロースト作曲「横浜青祭り序曲」が演奏されました。芸術大学の一端が伝われば良かったと思います。

それから4ヵ月程が過ぎました。ここでは、今期これまでデザイン学部が学内外に対して実施した主な講座やイベント等を、順次紹介します。

- ・ 4月1日／2014年度（平成26年）入学式・新入生全体オリエンテーションが、西キャンパスで行われました。



- ・ 4月10日／テキスタイルデザインコース2年生が「デザイン実技Ⅱ-1」の授業で、羊の毛刈りを体験しました。



- ・ 4月12日／公開講座「デザインと文化3」開催。「僕の体当たり現代美術／アートセンターをつくらう」海外に向けて現代美術を発信中 CCA北九州ディレクター 中村信夫氏。

- ・ 4月7日～16日／デザイン学部「レビュー選抜展2013」開催



- ・ 4月17日／津島市×名古屋芸術大学 官学連携プロジェクト「ふれあいバスの車窓から」がスタートしました。



- ・ 4月18日／特別客員教授 檜原由比子氏のワークショップがスタートしました。



- ・ 4月23日／㈱ワールド×名古屋芸術大学 産学連携事業 MOZOワンダーシティ FLAXUS ウィンドディスプレイの作品制作が完成し、その飾りつけが行われました。



- ・ 4月24日／「広告表現論」グラフィックデザイナー山崎晃氏による特別講座が行われました。



- ・ 4月26日／公開講座「デザインと文化3」開催。「コミュニケーションのかたち プロダクトから結婚式場、建築まで」デザインユニット p e a r d 3 落合正行氏+川上恭輔氏

- ・ 5月9日～21日／名古屋芸術大学美術・デザイン学部 OB・OG展が開催されました。



- 5月10日／公開講座「デザインと文化3」開催。  
「ミラノサローネ サテリア2014初出展ホットレポート+展覧会」  
服部隼弥、山田梨紗+プロジェクトチーム。

- 5月17日／公開講座「デザインと文化3」開催。  
「ものづくりの集まりが町を変えた、御田町商店街(長野県下諏訪郡)」  
匠の町しもすわあきないプロジェクト  
専務理事 原雅廣氏

- 5月22日／「広告表現論」  
クリエイティブディレクター坂上博氏による特別講座  
が行われました。



- 5月24日／公開講座「デザインと文化3」開催。  
御田町商店街フィールドワークものづくりの人々探訪
- 6月6日／2014年度美術学部・デザイン学部教育懇談会が開催されました。



- 6月7日～8日／ホンダデザインセミナー2014が開催されました。



- 6月7日～8日／有松絞りまつりにテキスタイルコース学生・卒業生が参加しました。

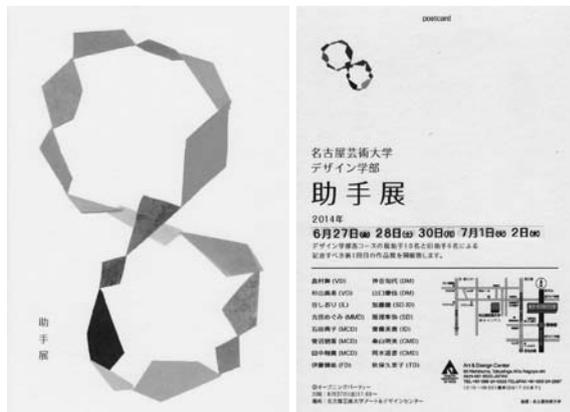


- 6月14日／オープンキャンパス2014  
美術学部・デザイン学部のオープンキャンパスが開催  
されました。



- 6月21日／公開講座「デザインと文化3」開催。  
工芸的想像の可能性ワークショップ/真珠ジュエリー  
をつくる  
金属造形 ジュエリー作家 小山泰之氏

- 6月27日～7月2日／「名古屋芸術大学デザイン学部  
助手展」を開催しました。



- 6月28日／公開講座「デザインと文化3」開催。  
ミニシアターの聖地 名古屋シネマテーク ミニシア  
ターの仕事。  
名古屋シネマテーク支配人 平野勇治氏

※尚、項目別のより詳しい内容については、名古屋芸術大学ホームページ、デザイン学部 News & Topics よりイベント・キャンパス情報・公開講座・トピック等で御覧ください。

※追記/デザイン学部では、春に「フレッシュマンキャンプ」を実施しています。新入学生間の相互理解を深め、教職員スタッフとの親睦を主な目的とする学外授業です。今年度は4月19日(土)、バス6台で静岡方面へ出掛けました。午前はやまハリゾートつま恋で、グループでレクリエーション体験をして、その後昼食をとりました。午後は、掛川花鳥園と資生堂アートハウスを見学しました。花鳥園では、フクロウ、ミミズクはじめ、珍しい大型の鳥が間近で観察する事ができ、学生達は広いゲージの室に入って、スケッチを熱心に行いました。後日、学内展示で力作が発表されました。アートハウスでは、近現代のすぐれた美術品の公開展示と、今日までの資生堂の社史を見学しました。限られた時間の中での見学でしたが、日本のデザイン史について興味を持つ良い機会になったのではないかと思います。時間をかけて又来たいという声を多く聞きました。

デザイン学部長 教授 落合紀文

## 人間発達学部

### 教員異動

人間発達学部は開設されて8年目を迎え、大学院並びに学部発展にご尽力いただきました佐藤勝利教授(臨床心理学)・野原由利子教授(幼児教育学)が、学部立ち上げからご尽力いただきました加藤晃講師(小学校教育)が、昨年度末をもって勇退されました。代わって平成26年度4月1日付けで、加藤義信教授(発達心理学)を新任教員として迎えました。加藤義信先生は、幼児期の表象機能の発達・フランス語圏の発達心理学理論の日本有数の研究者です。

学部の所属教員の若返りが進んで、新しい顔ぶれが増え改善の風が吹いてきております。

### 学部の現状

前身の名古屋自由学院短期大学保育科・児童教育科の教育理念を継承発展し、発達と学びの連続性をふまえ「幼稚園の分かる小学校教員」と「小学校の分かる幼稚園教員」の養成、芸術系3学部との協力・融合をすすめることによって、豊かな人間性をもった保育・教育者を養成してきました。学生の入学状況、履修状況、就職状況を検討しながら、今年度は「3つのポリシー」から成

る教育理念を明確にしました。各ゼミナールの定期的な話し合いや、オープンキャンパス・就職・完成報告書のワーキンググループを立ち上げ、学生指導・各教科の強化を計っています。カリキュラム編成が、附属クリエ幼稚園実習や小学校体験学習を始めとした学生の実践経験に対する理論的裏付けに一層なれるように、改善を探っています。芸術系総合大学学部の特質として、音楽学部の協力を得て、合奏の授業見学や専門教員によるマリンバ実技指導等の機会を増やしています。すなわち、学生自身の感性を豊かにすることで、子どもの感性を育めることのできる資質を高めることを目指しています。また、ゼミナールを通しての西キャンパスツアー、ポストン美術館・徳川美術館他での美術鑑賞を行い、美術的な感性を養う機会も作っています。例年実施されている「文化創造セミナー」「特別公開セミナー」等の外部講師を招く行事の他、学部学生が独自に企画運営する「春を呼ぶ芸術フェスティバル」を開催しています。このフェスティバルは、芸術・文化活動を通して地域の方々や子どもたちと関わる機会を増やす目的もあります。このような様々な取り組みが、名芸大生らしい豊かな4年間の学生生活につながっています。



入学式の様子



ゼミ活動の様子



ゼミ活動の様子

## 学部行事

### (1)新入生オリエンテーション

4月3日から1泊2日の日程で新入生オリエンテーション合宿を行いました。場所は三重県志摩市の「合歓の郷」で、新入生と運営委員の4年生、そして専任教員が参加し、1泊2日の諸活動に取り組みました。天候にも恵まれ、お互いが学びあい親睦を深め合った実に楽しいオリエンテーション合宿となりました。この合宿で得た多くの体験や成果は、貴重な糧となって、これからの名芸大生としての学生生活に必ず役立つことでしょう。4年生の運営委員は新入生からあこがれの存在になったようです。



オリエンテーション合宿の様子



オリエンテーション合宿の様子



オリエンテーション合宿の様子

### (2)文化創造セミナー

6月7日、本学東キャンパス3号館ホールで、天野ひかり氏を講師に迎えた人間発達学部文化創造セミナーが開催されました。

講師の天野氏は愛知県岡崎市の出身で、テレビ愛知アナウンサーを経て、教育テレビ(Eテレ)で子育て番組『すくすく子育て』のキャスターを務めた後、現在も活動の幅を広げられています。「子どものコミュニケーション力を育むために」をテーマに、子どもの心に届く「ことばかけ」の仕方を、グループワークやイメージング、ケーススタディ、表情遊びなどを通して、参加学生は楽しみながら学ぶことができました。



文化創造セミナー 講師 天野ひかり氏



文化創造セミナーの様子

### 学部同窓会の発足に向けて

8月30日に人間発達学部同窓会発足式及び第一回総会が3号館音楽ホールで開催されます。第一期生が卒業して4年が経ち、卒業生が544名となりましたが、学部には同窓会がなく、設立の期待と要望が高まり、卒業生有志たちが準備を進めてきてくれました。同窓会組織を今後拡大していく為に、在学生の方々の協力を期待しております。

人間発達学部長 教授 星野英五

## 学生部報告

キャンパスを活気あふれる学生の集う魅力的な空間にする：  
 キャンパス魅力づくりへの取り組み その2 ～『つなぐプロジェクト』

昨年4月より教職員有志の間で始まったキャンパス魅力づくりプロジェクトは、「西キャンパスと東キャンパスをつなぐ、在校生と卒業生をつなぐ、教員と学生をつなぐ、教員と職員をつなぐ、地域と大学をつなぐ」、をコンセプトに、生き生きとした活気のあるキャンパスづくりを目指して『つなぐプロジェクト』として改めて活動が始まりました。そして、

- ・学食ライブ
- ・デザイン学部生映像作品上映
- ・卒業生による移動カフェ
- ・在学生カフェ
- ・在学生作品展示&即売会
- ・韓国語ゼミ
- ・中国語ゼミ
- ・フィルム・ナイト
- ・芸大祭模擬店出店
- ・図書館便り
- ・今月の一冊



と様々な活動が数多く行われました。これに参加した学生の中で、より一層の興味関心を持ち、企画運営に主体的に参加する学生も出てきました。

近年、学生が主体的に学び、社会で生きていく能力を身に付けるように教育を提供することが大学に求められ、学生の学ぶ(学びたい)機会、学ぶ(学びたい)環境を作り上げることが必要になってきました。学生が学校生活を楽しく、生き生きと過ごせる「ワクワクする空間」にキャンパスが創られることはとても有意義であると思います。

今年度新たに企画されている一つに「絵本の読み聞かせ」があります。これは美術・デザイン学部の学生が、絵本を製作し、音楽学部の学生が演奏し、人間発達学部の学生が朗読をするというもので、総合芸術大学としての特徴を生かし、4学部の学生がコラボして絵本の読み聞かせをおこなう企画です。なかなかの好評を得ています。

今後こうした総合的な企画が多く展開され、人とキャンパス、地域・社会を“つなぐ”魅力あるプロジェクトとなるとともに、係わった学生が社会に貢献できるたくましい人材となってくれることを大いに期待しています。

学生部長 教授 菅嶋康浩



声と、絵と、音で奏でる ここでしかない「読み聞かせ」。

その日、同じ場所で、待っています。

【企画発起者】美術学部・デザイン学部・音楽学部・人間発達学部・大学校の学生さんであらび、どなたでも可。【開催予定日】2014年7月上旬 場所：学生食堂 【応募先】【教員】大崎・本村・高谷・早田・星三郎子・長内 【職員】石田まで。



## ■2014年度学生数

2014年5月1日現在

**総学生数 2,178人**

学 部	学 科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	7	46	53	9	44	53	12	69	81	17	52	69	256
	音楽文化創造学科	19	39	58	13	35	48	22	36	58	26	26	52	216
	音楽学部小合計	26	85	111	22	79	101	34	105	139	43	78	121	472
美 術 学 部	美 術 学 科	25	64	89	21	73	94	18	74	92	27	92	119	394
	美術学部小合計	25	64	89	21	73	94	18	74	92	27	92	119	394
デザイン学部	デザイン学科	48	143	191	44	143	187	51	140	191	44	133	177	746
	デザイン学部小合計	48	143	191	44	143	187	51	140	191	44	133	177	746
人間発達学部	子ども発達学科	28	73	101	43	100	143	40	80	120	36	96	132	496
	人間発達学部小合計	28	73	101	43	100	143	40	80	120	36	96	132	496
学 部 生 合 計		—	—	492	—	—	525	—	—	542	—	—	549	2108

研 究 科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音 楽 研 究 科	3	6	9	5	9	14	23
美 術 研 究 科	6	10	16	7	6	13	29
デザイン研究科	4	3	7	5	2	7	14
人間発達学 研究科	2	1	3	0	1	1	4
大 学 院 生 合 計	—	—	35	—	—	35	70

## 大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)
成績について 証明書発行について	教務課	
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課	
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課	
教員免許・学芸員資格について	教職センター(実習指導室)	
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)	
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)	
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課	東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター	西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)	東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

## 2014年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	火	入学式
	2	水	オリエンテーション(4/2~4/7)
	5	土	新入生歓迎会
	6	日	
	7	月	
	8	火	前期授業開始
	12	土	健康診断
	29	火	昭和の日 授業日
	30	水	休校 臨時休校日
	5月	1	木
2		金	休校 臨時休校日
3		土	休校 憲法記念日
5		月	休校 こどもの日
6		火	振替休日
18		日	後援会総会・教育懇談会
6月		14	土
	24	火	前期実技試験曲目提出期間(6/17~7/7)
	25	水	
7月	7	月	
	21	月	海の日 授業日
	29	火	試験期間(7/29~7/31)
	30	水	
	31	木	
8月	1	金	実技試験(8/1~8/2)
	2	土	
	3	日	音楽講習会(8/3~8/6)
	4	月	集中講義期間(8/4~8/8)
	6	水	
	7	木	
	8	金	
	18	月	集中講義期間(8/18~8/21)
	19	火	前期試験合否発表(13:00)
	22	金	追再試験(8/22~8/26)
9月	23	土	
	26	火	
	1	月	前期追再試験合否発表(13:00)
	17	水	後期オリエンテーション(9/17~9/18)
	18	木	
	19	金	後期授業開始
	23	火	秋分の日 授業日
	27	土	オープンキャンパス
30	火	前期卒業式	

月	日	曜日	後期行事予定	
10月	5	日	AO入試	
	13	月	体育の日 授業日	
	16	木	防災訓練	
	24	金	芸大祭(10/24~10/26)	
	25	土	※休講	
	26	日	↓ ミニオープンキャンパス	
	27	月	芸大祭後片付け ※休講	
	11月	3	月	文化の日 授業日
		8	土	推薦A入試、指定校・3年編入・留学生入試
		22	土	休校 学院創立記念日
24		月	振替休日 授業日	
25		火	後期実技試験曲目提出期間(11/25~12/8)	
12月	29	土	大学院A日程入試	
	30	日		
	8	月	↓	
	23	火	音楽講習会(12/23~12/26)	
	24	火	↓ 補講集中講義期間(12/24~12/26)	
	25	水		
	26	金	↓	
	27	土	冬期一斉休業期間(閉校)(12/27~1/4)	
	28	日		
	1月	4	日	↓
12		月	休校 成人の日	
20		火	実技試験期間(1/20~1/22)	
21		水		
22		木	↓	
23		金	後期試験期間(1/23~1/27)	
24		土		
27		火	↓	
2月		5	木	A日程・社会人・留学生入試
		6	金	3年編入・特待生入試
	9	月	後期試験合否発表(13:00)	
	11	水	休校 建国記念の日	
	13	金	追再試験(2/13~2/17)	
	14	土		
	17	火	↓	
	24	火	追再試験合否発表(13:00)	
	3月	4	水	卒業判定会議
		7	土	オープンキャンパス
10		火	研究生入試	
11		水	進級判定会議	
20		金	卒業式	
21		土	休校 春分の日	
25		水	B日程・社会人・留学生・大学院B日程入試	
26		木	新年度オリエンテーション予定(3/26~3/28)	
27		金		
28		土	↓	

## 2014年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	火	入学式
	2	水	オリエンテーション(4/2~4/7)
	5	土	新入生歓迎会
	〃		
	7	月	
	8	火	前期授業開始
	29	火	昭和の日 授業日
	30	水	休校 臨時休校日
5月	1	木	休校 開学記念日
	2	金	休校 臨時休校日
	3	土	休校 憲法記念日
	5	月	休校 こどもの日
	6	火	振替休日
6月	14	土	オープンキャンパス
7月	19	土	第1回体験授業
	20	日	オープンキャンパス
	21	月	海の日 授業日
	26	土	第2回体験授業
	29	火	試験期間(7/29~7/31)
	〃		
	31	木	
8月	3	日	一日芸大生
	4	月	集中講義期間(8/4~8/8)
	〃		
	8	金	
	18	月	集中講義期間(8/18~8/21)
	19	火	前期試験合否発表(13:00)
	21	木	
	22	金	追再試験(8/22~8/26)
	23	土	AO入試
	〃		
26	火		
9月	1	月	前期追再試験合否発表(13:00)
	15	火	休日 敬老の日
	17	水	後期オリエンテーション(9/17~9/18)
	18	木	↓ 後期WEB履修登録
	19	金	後期授業開始
	23	火	秋分の日 授業日
	24	水	前期卒業判定会議
	27	土	オープンキャンパス
	30	火	前期卒業式

月	日	曜日	後期行事予定
10月	13	月	体育の日 授業日
	24	金	芸大祭(10/24~10/26)
	〃		↓ ※休講
	26	日	
	27	月	芸大祭後片付け ※休講
11月	2	日	推薦入試
	3	月	文化の日 授業日
	8	土	大学院Ⅰ期・3年編入Ⅰ期入試
	22	土	休校 学院創立記念日
12月	24	月	振替休日 授業日
	6	土	浜松・金沢地域入試
	23	火	休校 天皇誕生日
	24	火	補講集中講義期間(12/24~12/26)
	〃		
	26	金	
	29	月	冬期一斉休業期間(閉校)(12/29~1/4)
	〃		
1月	4	日	
	12	月	休校 成人の日
	20	火	後期補講・集中期間(1/20~1/22)
	〃		
	22	木	
	23	金	後期試験期間(1/23~1/27)
	〃		
2月	27	火	
	3	火	成績表提出期限
	5	木	A日程入試(2/5~2/6)
	6	金	
	9	月	社会人入試・3年編入Ⅱ期入試・後期試験合否発表
	11	水	休校 建国記念の日
	12	木	研修生入試・大学院Ⅱ期入試
	13	金	後期追再試験(2/13~2/17)
	〃		
	17	火	
3月	19	木	追再試成績伝票提出期限
	24	火	追再試験合否発表(13:00)
	4	水	卒業判定会議
	6	金	転学部・転科転コース、研究生入試
	11	水	進級判定会議
	20	金	卒業式
3月	21	土	休校 春分の日
	24	水	B日程入試

## 2014年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	火	入学式
	2	水	オリエンテーション(4/2~4/7)
	3	木	新入生宿泊オリエンテーション(4/3~4/4)
	4	金	↓
	5	土	新入生歓迎会
	6	日	↓
	7	月	↓
	8	火	前期授業開始
12	土	健康診断	
29	火	昭和の日 授業日	
30	水	休校 臨時休校日	
5月	1	木	休校 開学記念日
	2	金	休校 臨時休校日
	3	土	休校 憲法記念日
	5	月	休校 こどもの日
	6	火	振替休日
	18	日	後援会総会・教育懇談会
6月	7	土	文化創造セミナー
	14	土	オープンキャンパス
7月	19	土	オープンキャンパス
	21	月	海の日 授業日
	29	火	試験期間(7/29~7/31)
	30	水	↓
	31	木	↓
8月	4	月	集中講義期間(8/4~8/8)
	5	火	↓
	8	金	↓
	18	月	集中講義期間(8/18~8/21)
	19	火	前期試験合否発表(13:00)
	20	水	↓
	21	木	↓
	22	金	追再試験(8/22~8/26)
	23	土	オープンキャンパス
	26	火	↓
9月	1	月	前期追再試験合否発表(13:00)
	4	木	後期オリエンテーション(9/4~9/5)
	5	金	↓
	7	日	AO入試
	11	木	3年生補講開始
	19	金	後期授業開始
	23	火	秋分の日 授業日
	27	土	オープンキャンパス
	29	月	教育実習 (幼稚園 9/29~10/18)
	30	火	前期卒業式 (小学校 9/29~10/25)

月	日	曜日	後期行事予定
10月	5	日	大学院一次入試・AO入試
	13	月	体育の日 授業日
	16	木	防災訓練
	24	金	芸大祭(10/24~10/26)
	25	土	※休講
	26	日	↓ ミニオープンキャンパス
	27	月	芸大祭後片付け ※休講 (3年生は補講日)
11月	1	土	公開講座
	3	月	文化の日 授業日
	8	土	推薦A入試、指定校・3年編入A入試
	22	土	休校 学院創立記念日
	24	月	振替休日 授業日
12月	29	土	推薦B入試、社会人、大学院二次入試
	24	火	補講集中講義期間(12/24~12/26)
	25	水	↓ 音楽講習会(12/25~12/27)
	26	金	↓
	27	土	冬期一斉休業期間(閉校)(12/27~1/4)
	28	日	↓
	29	月	↓
	30	火	↓
	31	水	↓
	1月	4	日
12		月	休校 成人の日
23		金	後期試験期間(1/23~1/27)
24		土	↓
27		火	↓
2月	5	木	一般A入試(2/5~2/6)
	6	金	↓
	9	月	後期試験合否発表(13:00)
	11	水	休校 建国記念の日
	13	金	追再試験(2/13~2/17)
	14	土	2年生追再試験
	15	日	↓
	16	月	↓ 保育所実習(2/16~2/28)
	17	火	↓
	24	火	追再試験合否発表(13:00)
3月	25	水	↓
	28	土	↓
	4	水	卒業判定会議
	10	火	一般B・3年編入B・大学院三次・研究生入試
	11	水	進級判定会議
	20	金	卒業式
	21	土	休校 春分の日
26	木	新年度オリエンテーション予定(3/26~3/28)	
27	金	↓	
28	土	↓	

# 就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

## 2014年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

### 《音楽学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
4	全学年	カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者
	1年生	大学生基礎力一斉テスト	
	4年生	就職活動について	一般企業希望者
		面接対策講座(総まとめ)・模擬面接 作文添削	
5	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
		ヤマハグレード試験・システム講師説明会	音楽講師希望者
	1年生	キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅰ)	
		キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅱ)	
	2・3・4年生	ヤマハPMS講師学内説明会	音楽講師希望者
	3年生	卒業後の進路について/自己分析テスト	
	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
教員採用試験 説明会 願書の記載方法、及び説明		愛知県受験者	
教員採用試験 名古屋・岐阜・三重 教育委員会による説明会 作文添削		名古屋市・岐阜県・三重県受験者	
6	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	3年生	業界・業種研究 インターンシップについて	
	4年生	作文添削	
7	3年生	就職模擬試験(一般常識テスト) 自己分析テストの返却・解説	
	4年生	ハローワーク訪問	
8	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
9	全学年	第3回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講師希望者
	1・2年生	今から始める進路選択(就職活動)	
10	3年生	就職活動の進め方【基礎編】	
		就職活動・就職後の基礎知識ガイダンス	
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	講師希望者
11	1・2年生	小学校教員資格認定試験対策講座説明会	
	2・3年生	作文対策講座	
	3年生	履歴書の書き方 就職模擬試験(SPⅠ)	教員希望者
12	3年生	就職活動のマナー・ルール・手紙	
		面接対策講座・模擬面接	
		就職活動の進め方【基礎・教育編】	進路別：教育希望者
2・3・4年生	作文添削		
1	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	3年生	就職活動の進め方【実践編】(進路別)	
	2・3・4年生	作文添削	
2	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
3	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	

## 《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象	
4	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)	美術学部・デザイン学部	
5	3年生・大学院1年生	第1回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
		夏季インターンシップ<ガイダンス授業>・春季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者	
		夏季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者	
		夏季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者	
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(就職活動の流れ・進路調査)	美術学部・デザイン学部	
	4年生・大学院2年生	教員採用試験学内説明会	美術学部・デザイン学部	
6	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職適性・自己分析テストの実施)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座①)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座②)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座③)	美術学部・デザイン学部	
	4年生・大学院2年生	第2回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
7	1年生	キャリアガイダンス(大学生基礎力調査Ⅰテスト説明会)	美術学部・デザイン学部	
	2年生	キャリアガイダンス(大学生基礎力Ⅱテスト説明会)	美術学部・デザイン学部	
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(状況調査・現状と今後について)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ハローワーク説明会)	美術学部・デザイン学部	
8 9	3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ<ビジネスマナー講習(事前研修)>	インターンシップ参加者	
		各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者	
		夏季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者	
9	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(求人の見方、エントリーシートの書き方)	美術学部・デザイン学部	
		第3回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
10	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(エントリーシート攻略テスト)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(適性試験対策)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト)	美術学部・デザイン学部	
11	2年生	キャリアガイダンス(進路選択に係る今後のスケジュール等について)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(美術デザイン業界・職種など)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(ポートフォリオのまとめ方)	美術学部・デザイン学部	
	3年生・大学院1年生	春季インターンシップ<ガイダンス授業>・夏季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者	
		春季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者	
		春季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者	
		就職ガイダンス(広告webマスコミ業界研究)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ビジネスマナー講座)	美術学部・デザイン学部	
12	1年生	キャリアガイダンス(企業講演会)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(企業講演会)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(企業講演会)	美術学部・デザイン学部	
	2年生	キャリアガイダンス(履歴書の書き方など)	美術学部・デザイン学部	
		3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(面接試験対策①)	美術学部・デザイン学部
			就職ガイダンス(面接試験対策②)	美術学部・デザイン学部
就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト説明会)	美術学部・デザイン学部			
1 3	3年生・大学院1年生	第4回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
		春季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者	
		就職ガイダンス(就職活動の進め方・就職ナビの活用)	美術学部・デザイン学部	
		各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者	
		春季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者	
2	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(ハローワーク登録会)	美術学部・デザイン学部	
4	3年生・大学院1年生	就職活動オリエンテーション(新4年生)	美術学部・デザイン学部	
5	3年生・大学院1年生	春季インターンシップ<フォローアップ授業(事後研修)>	インターンシップ参加者	

## 《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
4	1年生	大学生基礎力一斉テスト	
	4年生	就職活動について	一般企業希望者
		公務員試験説明会(保育職)	公務員(保育職)希望者
		面接対策講座(総まとめ)・模擬面接 作文添削	
5	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	1年生	キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅰ)	
		キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅱ)	
	3年生	第1回就職ガイダンス 卒業後の進路について/自己分析テスト	
	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
教員採用試験 説明会 願書の記載方法、及び説明		愛知県受験者	
教員採用試験 名古屋・岐阜・三重 教育委員会による説明会 作文添削		名古屋・岐阜・三重受験者	
6	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	3年生	第2回就職ガイダンス 業界・業種研究	
		第3回就職ガイダンス 就職模擬試験(一般常識テスト)	
	4年生	愛知県私立幼稚園連盟統一試験学内説明会	愛知県私立幼稚園受験者
		愛知県私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)	愛知県私立幼稚園受験者
作文添削			
7	3年生	第4回就職ガイダンス 自己分析テストの返却・解説	
	4年生	夏期休業期間中の就職活動について	幼稚園・保育所希望者
		ハローワーク訪問	幼・保・施設希望者
8	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
9	全学年	第3回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
	1・2年生	今から始める進路選択(就職活動)	
	1年生	後期からの大学生活の進め方	
10	3年生	公務員採用試験説明会(保育職)	公務員(保育職)希望者
	4年生	就職活動・就職後の基礎知識ガイダンス 講師登録説明会・特別支援学校説明会	講師希望者
11	3年生	就職活動の進め方【基礎編】	進路別:幼・保・施設希望者
	2・3年生	作文対策講座	
	3年生	履歴書の書き方 就職模擬試験(SPⅠ)	
12	3年生	就職活動のマナー・ルール・手紙	
		面接対策講座・模擬面接 就職活動の進め方【基礎・教員編】	進路別:教員希望者
	2・3・4年生	作文添削	
1	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	3年生	就職活動の進め方【実践編】(進路別)	
	2・3・4年生	作文添削	
2	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
3	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	

## ■2013年度 音楽学部進路状況

2014年5月1日現在

		演奏		音楽文化創造		合計		総計
		男	女	男	女	男	女	
就職関係	公立学校教員	0	4	0	1	0	5	5
	公立学校常勤講師	1	2	0	2	1	4	5
	公立学校非常勤講師	0	1	0	0	0	1	1
	公立学校介護員	0	0	0	0	0	0	0
	私立学校教員	0	0	0	1	0	1	1
	私立学校常勤講師	0	0	0	0	0	0	0
	私立学校非常勤講師	0	0	0	0	0	0	0
	その他教育機関	0	1	0	0	0	1	1
小計		1	8	0	4	1	12	13
福祉関係	福祉施設等	1	2	0	4	1	6	7
小計		1	2	0	4	1	6	7
音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	4	0	1	0	5	5
	楽器店講師	0	5	2	0	2	5	7
	自宅教室(ピアノ)	0	1	0	0	0	1	1
	自宅教室(他)	0	0	0	0	0	0	0
	幼稚園・保育所	0	1	0	0	0	1	1
小計		0	11	2	1	2	12	14
音楽家	奏者(フリー)	1	5	4	6	5	11	16
	ミュージカルアーティスト	0	0	0	1	0	1	1
小計		1	5	4	7	5	12	17
一般企業		3	11	10	15	13	26	39
各種団体等		0	0	0	0	0	0	0
小計		3	11	10	15	13	26	39
公務員	行政職	0	0	1	0	1	0	1
	その他	1	1	0	1	1	2	3
小計		1	1	1	1	2	2	4
合計		7	38	17	32	24	70	94
進学	大学院	0	2	1	2	1	4	5
	研究生	2	7	0	0	2	7	9
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(大学・専門等)	0	1	0	0	0	1	1
合計		2	10	1	2	3	12	15
就職・進学希望なし	結婚・家事等	1	0	0	1	1	1	2
	その他	1	2	3	7	4	9	13
合計		2	2	3	8	5	10	15
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	2	3	1	2	3	5
合計		0	2	3	1	2	3	5
総合計		11	52	24	43	34	95	129

卒業生数(9月卒業1名含む)	11	52	24	43	35	95	130
就職・進学希望者数	9	50	21	35	30	85	115
就職・進学者数	9	48	18	34	27	82	109
就職・進学率	100%	96%	86%	97%	90%	96%	95%
		97%	93%	95%			

## ■2013年度 美術学部進路状況

2014年5月1日現在

		日本画コース		洋画1・2コース		彫塑・立体造形・陶芸・ガラス		造形科彫塑選択コース		アートエディターコース・版画コース		美術文化コース		合計		総計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
就職(一般企業等(産業別))	印刷関連(製造業)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	工業製品(製造業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他美術関連(製造業)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	4
	卸売業・小売業	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	5
	サービス業(デザイン業等)	0	0	0	6	0	1	0	0	0	1	0	0	0	8	8
	その他業種(上記以外)	0	3	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8	8
	作家活動	0	6	2	4	0	1	0	0	2	1	0	0	4	12	16
	上記以外のその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	11	3	16	0	4	0	0	2	6	0	5	37	42	
就職関係	公立学校教員関係(非常勤含む)	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
	私立学校教員関係(非常勤含む)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3	
	小計	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	6	6	
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	12	3	20	0	4	0	0	2	6	0	1	5	43	48
進学	大学院	0	2	5	7	1	0	0	0	1	0	1	6	11	17	
	研究生	0	0	2	0	0	1	0	0	4	0	1	2	6	8	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(専門)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	
合計		0	2	7	7	1	1	0	0	1	5	0	2	9	17	26
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	
合計		0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	6	1	10	0	2	0	1	1	5	0	4	2	28	30
合計		0	6	1	10	0	2	0	1	1	5	0	4	2	28	30
総合計		0	20	12	41	1	7	0	1	4	16	0	7	17	92	109

卒業生数	0	20	12	41	1	7	0	1	4	16	0	7	17	92	109
就職・進学希望者数	0	20	11	37	1	7	0	1	4	16	0	7	16	88	104
就職・進学者数	0	14	10	27	1	5	0	0	3	11	0	3	14	60	74
就職・進学率		70%	91%	73%	100%	71%		0%	75%	69%		43%	88%	68%	71.2%
		70.0%	77.1%	75.0%	0.0%	70.0%		42.9%	71.2%						

## ■2013年度 デザイン学部進路状況

2014年5月1日現在

		デザイン科								合計		総計	
		MCブロック		PSブロック		Crブロック		LSブロック		男	女		
		男	女	男	女	男	女	男	女				
就職	一般企業等(産業別)	印刷関連(製造業)	1	8	0	0	0	0	0	0	1	8	9
		車など/工業製品(製造業)	0	0	2	8	0	4	0	0	2	12	14
		その他美術関連(製造業)	2	6	2	0	0	5	0	1	4	12	16
		卸売業・小売業	1	6	0	0	0	2	0	1	1	9	10
		サービス業(デザイン業等)	7	17	2	3	0	0	2	0	11	20	31
		その他業種(上記以外)	0	5	1	1	0	0	0	0	1	6	7
		フリーランスデザイナー	3	2	0	0	1	0	0	0	4	2	6
	上記以外のその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	14	44	7	12	1	11	2	2	24	69	93	
	職	職関係	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2
職関係		0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2	
小計		0	1	1	1	0	1	0	0	1	3	4	
公務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	14	45	8	13	1	12	2	2	25	72	97		
進学	大学院	2	0	0	1	0	0	0	0	2	1	3	
	研究生	0	0	3	0	0	1	0	1	3	2	5	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(専門)	0	3	0	1	0	0	1	0	1	4	5	
合計	2	3	3	2	0	1	1	1	6	7	13		
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
合計	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	6	19	1	7	0	9	3	5	10	40	50	
合計	6	19	1	7	0	9	3	5	10	40	50		
総合計	23	68	12	22	1	22	6	8	42	120	162		

卒業生数	23	68	12	22	1	22	6	8	42	120	162
就職希望者数	22	67	12	22	1	22	6	8	41	119	160
就職者数	16	48	11	15	1	13	3	3	31	79	110
就職率	73%	72%	92%	68%	100%	59%	50%	38%	76%	66%	68.8%
	71.9%	76.5%	60.9%	42.9%	68.8%						

## ■2013年度 人間発達学部進路状況

2014年5月1日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
就職	教職	公立学校教員	0	3	3
		公立学校常勤講師	8	2	10
		公立学校非常勤講師	2	6	8
		公立幼稚園教員	0	2	2
		公立幼稚園常勤講師	1	0	1
		私立幼稚園教員	0	17	17
		私立幼稚園常勤講師	0	1	1
		その他の教育機関	1	0	1
	小計	12	31	43	
	福祉	公立保育所(正職)	0	6	6
公立保育所(臨職)		1	3	4	
私立保育所		1	17	18	
福祉施設(保育士等)		4	1	5	
学童保育所(クラブ)		0	0	0	
小計	6	27	33		
一般企業	7	13	20		
各種団体等	0	0	0		
小計	7	13	20		
公務員	1	0	1		
その他	1	0	1		
小計	1	0	1		
合計	26	71	97		
進学	大学院	0	0	0	
	研究生	1	0	1	
	海外(留学)	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	2	2	4	
合計	3	2	5		
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	1	1	
	その他	0	2	2	
合計	0	3	3		
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	7	7	
合計	0	7	7		
総合計	29	83	112		

卒業生数(9月卒業1名含む)	29	83	112
就職・進学希望者数	29	80	109
就職・進学者数	29	73	102
就職・進学率	100%	91%	94%

# 先輩の活躍



## 音楽教育を通じて伝えたいこと

2013年度 音楽学部 演奏学科  
ピアノコース卒業

竹本早織

生徒に音楽の素晴らしさを伝え、自分も音楽と一生携わってきたいという思いで、私は音楽の高校教諭の道を選びました。

まず専任教諭としての仕事の多さに驚いています。教育実習で経験したことは、仕事のほんの一部でしかなく、授業のほかに、部活動、生徒指導と、こなさなければならないことがたくさんあり、朝から晩まで走り回っています。

教員として1番大切な授業では教える技術だけではなく様々な能力が必要で、自分の非力さにいつも悔し涙を流しています。大学時代はピアノを専攻していました。しかし、実際の授業ではピアノはあまり使用せず、歌やリコーダーなど、専門外のことを先輩の先生に教えていただきながら生徒に指導しています。音楽の教員は音楽のプロであるべきですが、指導するとなると無知なこと

が多く、私も生徒と一緒に学んでいます。

また、部活動は吹奏楽部の顧問をしています。私は吹奏楽の経験がなく、右も左もわかりませんが、大学時代の友人や名芸大の方々にご協力いただきながら指導しています。

まだ数ヶ月しか働いていませんが、入学した当時は言葉の使い方や態度が粗野だった生徒が、少しずつ成長していく姿を見ると嬉しく思います。この生徒たちが3年生になって立派に卒業していく姿を見たときに、この仕事のやりがいを心の底から感じるができるのだと思います。また、生徒に音楽を通してなにかを伝えることができた瞬間はとても嬉しいです。生徒の「わかった」という輝いた顔を見ると、どんなに疲れていても心が軽くなります。

私は幼い頃から続けているピアノや音楽で、「人生は努力と経験が大切であり、悔しいと思うことで成長できる」ということを学びました。授業も部活指導も手探りで、社会人としても知らないことが多いため、自分が情けないと思うことも何度かありますが、その度にピアノや名芸大で学んだことを思い出し、熱い想いを胸に成長していきたいと思っています。

(愛知県立高等学校 勤務)

## 保育士として日々努力していること

2013年度 人間発達学部  
子ども発達学科卒業

鬼頭宣江

私は今年の4月から犬山市の楽田子ども未来園で2歳児クラスの担任として働いています。実際に現場に出てみて、分からないことが多く不安や戸惑うこともあります。園長先生をはじめ先輩の先生方に教えていただきながら、毎日楽しく過ごしています。

4ヶ月がたち少しずつ仕事にも慣れ、子どもの様子もだんだんと分かるようになってきました。子ども達からも、「のりえせんせい〜」と呼んで、甘えてきてくれることが多くなり、慕ってくれていると感じます。しかしそんな中、毎日の慌ただしさから、どうしても子ども達への目が行き届かなくなってしまうことがあります。そこで、私は子ども達との関わりを大切に、一人一人をじっくり見ていきたいと思っています。クラスにはもちろん複数の子ども達がいるので一対一で見ていくというのはなかなか難しいのですが、集団の中でも一人一人の

関わりを丁寧にしていくことで“この子はこういう言葉を掛けると行動できるのだな”とか“この遊びが好きなのだな”ということが分かります。子ども達は保育者の言葉や働き掛けによって色んな表情や反応を見せます。そんな子ども達の様子を見ながら、一人一人と深く関わっていききたいと思います。

また、私は子ども達が毎日楽しいと思えるようにしていきたいと思っています。2歳の子にとって保育園で母親と離れることは、とても寂しいことであり、不安でいっぱいであると思います。4ヶ月たった今でも、中には登園時に涙を見せる子もいます。なので、子ども達にとって保育園は楽しいところだということを感じてもらえるように、登園時には子どもが安心できるように明るい挨拶をして笑顔で迎え、子ども達が楽しめるような遊びを考えて行っていききたいと思っています。子ども達の中で“今日も保育園楽しかった、また明日も行きたいな”と思えるような保育をしていきたいです。

まだまだ私は保育士としては未熟ですが、子ども達の笑顔に支えられながらこれからも日々努力していきたいと思っています。そして、子ども達も私自身も毎日楽しく過ごしていきたいです。

(愛知県犬山市 公立保育士)



## 教師としてのやりがい

2013年度 美術学部  
洋画1コース卒業

武内 聡子

私は現在特別支援学校に勤務しています。新しい環境で過ごす毎日はとても新鮮です。

学校では専門の美術授業だけでなく、数学や、生活単元学習、また遠足やスポーツ大会など、さまざまな生徒と関われる時間がたくさんあります。

私は元々教師志望というわけではなく、資格がほしくて教員免許を取得しました。しかし、この5ヶ月間、生徒たちと時間を共有することで、教育の魅力を感じています。

特別支援学校の生徒たちは、ただ教えるだけでは、伝わりません。様々な工夫が必要です。イラストなどを使った視覚的な支援やスモールステップ、生徒一人一人の実態に合わせた内容での授業展開が必要です。それを考えていくのは大変なことではありますが、生徒に伝わった時の喜びは、教師としてのやりがいだと思います。

す。失敗もたくさんありますが、回りの先生方や生徒たちの笑顔に励まされています。

生徒の成長と共に自分も成長できる、そんな学び続けられる教師でいられるように努力していきたいと思っています。

(特別支援学校 勤務)



## 子供に伝えること

2013年度 デザイン学部  
デザイン学科卒業

塚原 良亮



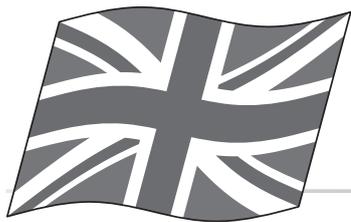
私は今年の4月から一般財団法人岐阜県校長会館事業部の職員として働いています。校長会館では「夏の友」「夏の生活」など、岐阜県の小学生や中学生を対象に読んで体験し、勉強できる本を出版しています。私は出版物の編集をしたりしています。

大学在学中はずっと美術の教員になろうと思っていました。大学4年生で教員採用試験も受けましたが、合格することはできませんでした。その後、大学の就職支援課から今の職業の紹介をして頂きました。ずっと目指してきた教育の道とかけ離れた職ではないし、大学で学んだ事が活かせるような内容だったのでやってみようと思いを決めることにしました。こちらは合格することができて働いていますが、会館の職員の方たちも教育につい

て本気で考えていて、子供達のことを一番に考えながら仕事をしているので私もここで頑張っていきたいと思いました。最初は美術の教員を目指していたので、その最初の目標を諦めてしまうのは少し後ろめたい気持ちでしたが、いざ働いてみるとこういった教育への関わり方もあるということが分かりました。そして、自分の力が大いに発揮できる場所や内容で今は自信を持って取り組めるし、新たな目標ができました。何事も挑戦が大事だと思います。「夏の友」では岐阜県中の事を紹介していて、様々な体験ができる場所がたくさんあります。やはり紹介する側としてはそれを知っておきたいし、その本がなくても紹介できるような知識を身に付けたいです。

毎日日々勉強という感じで仕事をしています。大学で学んだ事が役に立っている事もありますが働き始めて学ぶ事も多いです。教授がいつも言っていた、いろいろな事に興味を持ち調べなさいという言葉はその通りだと今になっても思います。大学はたくさん経験のできる場だと思うので、在学生のみなさんはこの機会を逃さないように常に目標を持って毎日を全力で過ごして欲しいです。私も目標に向かって日々努力していきたいと思っています。

(一般財団法人岐阜県校長会館事業部 職員)



University of Brighton  
Graduate Show

## ブライトン大学訪問記

後援会会長 平井友明

名古屋芸術大学の姉妹校のイギリスにあるブライトン大学を訪問しました。交流の一環として、6月7日から行われるブライトン大学の graduate show で名古屋芸術大学・大学院後援会より優秀作品に賞を贈呈するためです。同行したのは、大島俊三名誉教授、村上太佳子名誉教授、扇千花教授、国際交流センター長の水内智英講師、国際交流センターの加藤多美子さん、及びイギリス在住の河野英一名誉教授です。

5日に大学に到着するとすぐに、事前にブライトン大学の先生により21コースの中から選ばれた41作品の審査を行いました。様々な作品やパフォーマンスを目にすることができ、学生の成果を実感しました。



翌日には、昼食会が行われ、招待されたたくさんの方々と会食しました。

そして7日には授賞式があり、ブライトン大学からの多数の賞の後、私たちの順番となりました。大島名誉教授の大学を代表してのスピーチに続き、私がスピーチを行い、1位1名賞金400ポンド、2位1名300ポンド、3位2名150ポンド、佳作8名に賞品を授与しました。

1位は絵画コースの学生で4枚の板に色を塗り、ブラシのようなもので模様を付けたものでした。

2位には昨年留学生として来日していた学生の釘についての研究が選ばれ、受賞と再会を喜んでいました。

ブライトン大学とは今回同行した大島名誉教授、村上名誉教授らのご尽力により20年近く前より交流をしているそうです。また、河野名誉教授も親交があるブライトン大学のブルース副学長が退任されるということでした。

今回初めてブライトン大学を訪問しましたが、海辺の素晴らしい環境の中にある素晴らしい大学と今後も交流を深めていく事を願っています。



# International Student Information

## Pay Forward (次の世代へ)

空港の到着ゲート。大きな荷物のカートを不安そうに押しながら出てくる留学生を、私は満面の笑みで迎える。少しでの彼ら達の不安が無くなるように…と。

「smile」は、みんなの気持ちを和らげる。彼らの「smile」を見たその瞬間から、彼らは私の子ども達。

私も若い頃に異国でそのようにしてもらった経験が。今度は私が次の世代へそれを繋ぐ番！言葉もままならぬ彼ら達に、名芸での滞在を有意義なものにもらえるように、まずは「spoon feed」(母親が赤ちゃんに匙で食事を与えるように、手取り足取り世話をすること)から。少しでも日本を、日本の文化・風習を理解してもらえるように。そして何より日本人を。。

この2年半、本学学生も交え、日本語レッスン、ホテル観賞、鎧兜の試着、禅寺滞在、etc…と、私は学生達と一緒に様々な時間を過ごしてきた。彼らに何度助けてもらったことか。。。彼らも私の大切な子ども達。

学生時代に他国で滞在し友を得る経験は、人生において素晴らしいこと。彼らが学内外でそんな経験を少しでもしてもらえたら、私にとってこれほどの幸せはない。

彼ら達が、いつの日か次の世代にこの経験を「Pay Forward」してくれることを願って、これからも学生達とワイワイやっていきたい。

国際交流センター 加藤多美子

## 「せせらぎ合唱団」 団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、名古屋芸術大学・大学院後援会の有志により「歌を歌って楽しもう」と15年前から活動している合唱サークルです。毎月1回、芸術大学の江端智哉先生と山田正丈先生と交代で懇切丁寧な御指導をいただき、練習日に集まっています。今年入学された父兄の皆様には5月の定期総会に案内させて頂きましたが、まだご存知ない方々にもぜひとも知っていただきたく、この会員の募集をします。これまで、大学の学園祭の会期中に演奏会を開催したこともあります。今回の演奏会がもてるように練習曲を重ねていきたいと思っています。初めての方でもまず発声から始めて、楽しく練習できますので大丈夫です。毎月第3土曜日の午後1時30分から3時まで、音楽学部の4号館の3階のオペラ教室に足を運んでください。どなたでも入会できます。団員皆さんで待っています。

今回は、10月18日(土)です。



### 〈問い合わせ先〉

会長 長江政則  
〒480-1214 瀬戸市上品野町927  
電話：0561-41-1655 携帯：080-3621-7706  
副会長 千石智子  
〒488-0863 尾張旭市城前町上大道4084-6  
電話：0561-53-4222 携帯：090-8469-4324

## 絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、今から25年前に元後援会長の黒田勝氏を中心に仲間が集まり結成されました。名古屋芸術大学・大学院



後援会の有志による「絵を描いて楽しもう」と、活動を続けている絵画グループであります。毎回、大学の先生方により懇切丁寧なご指導を頂き、年1回、名古屋市民ギャラリーで展覧会を行い、会員の作品を発表しております。また、研修会、鑑賞会、スケッチ旅行等、楽しい事が多くあります。この会には後援会に関係のある方ならどなたでも入会して頂けます。入会すれば絵画を通じて、先生方や会員同士の交流が深まり、生活が楽しく、人生に潤いが生まれて参ります。

会員一同、皆様のご入会をお勧め致します。

### 【活動状況】

1. 例会 毎月第三日曜日 午後2時～4時 西キャンパス
2. グループ展 毎年5月上旬(1週間) 名古屋市民ギャラリー
3. スケッチ会 10月予定
4. 鑑賞会

### 〈問い合わせ先〉

会長 宇佐見 誠也  
〒489-0874 瀬戸市幡野町508  
電話：0561-21-4567 携帯：090-7305-8205  
運営委員長 森部 みや子  
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58  
電話：0587-32-2814 携帯：090-1825-1671

## クラブ・同好会紹介 〈東キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	ジャズ研究会	楽器を持ち寄り、セッションや打ち合わせから楽器のテクニックや感性を磨き、スキルアップを図る。また、コミュニケーションの場としても機能し、演奏の質や自立力を向上させる。
2	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
3	フットサル部	私達は、フットサルを通して技術の向上を目指すとともに、将来のために様々な人と関わることでコミュニケーション能力をつけられるようにするために活動しています。
4	フラワーショットテニスクラブ	テニスを通して、身体を動かすことや仲間と交流することの楽しみを味わい大学生活を充実させるため。
5	ミュージックボランティア	大学での授業の実習以外での音楽・音楽療法活動をする。
6	子ども文化サークル	人形劇の制作をし、発表を通して子ども達と交流する。
7	自然と暮らしを楽しむ会	都会での人工的な生活に慣れて、人間の生活は自然の営みに支えられていることの実感を見失いがちになっています。今ならまだ身近にも発見できる、自然の不思議さ、逞しさを実感し、自然の恵みによって私たちの命と生活が成り立っていることを体感することができます。自然についての知識や技術を沢山たくわえ、次世代にも伝えていきます。
8	爆音楽部	ジャムセッションやスタジオ練習を通してアイコンタクトやかけあいで意思疎通ができるようになる。学内外を問わず活動することを視野に練習等をする。
9	B・B・Z(バスケット部)	短い時間で少しでも技術を高める為に、チーム全員で声を掛け合いながらコミュニケーションをとり、稲沢大会で優勝することを目標に頑張っています。また、今年登録したリーグ東海で2部に上げられるように頑張りたいと思います。
10	ルーディメンツクラブ	打楽器の基礎といわれるルーディメンツを学び、それを練習することで部員の演奏技術の向上を図ることが目的である。
11	和太鼓部	和太鼓および伝統楽器を演奏し、自分達も伝統文化を学ぶと共に演奏会を通し、学外の人とふれあい伝統文化を広げていく。
12	ワンダーフォーゲル	私達は自然と触れ合い、自然体験活動リーダー、ネイチャーゲーム指導員の資格を取得し、将来役に立つように活動していく。
13	ダンスサークル	ダンス活動を通して適度な運動をし、健康的な体を作り上げること。様々な学年と創ることや考えることを共にし、交流を深め大学祭などを名古屋芸術大学の一員として盛り上げることを目的とする。
14	すくらん部	ボランティアを通して子どもと関わることで、大学で学んだ保育の知識・技術を生かし、経験を積む。様々な活動で他大学の学生と交流することで、視野を広げよう活動していきたい。
15	リズム体操部	私達は創って、動いて、指導することを目的とし、地域との交流を深めていきたいです。さらにラートの大会に出場し、他大学との交流を深めていきたいです。
16	中音部	音楽を通じて交流を図り、輪を広げる。他大学との交流も積極的に行い、輪を広げていく。
17	冒険KID'S	自然豊かな岐阜県上八幡で春夏秋冬を通し、小学生に自然とふれあう事の楽しさを伝え、一緒に学び、遊びながら「楽しく」「安全に」「予定通りに」サポートスタッフとして勤め、私たちが目指す将来に役立つ“何か”を学びとる。
18	人間発達学部吹奏楽部 Noise band	子どもから大人まで、たくさんの人に吹奏楽の生の演奏をきいてもらって、音楽の楽しさを伝え、私たちも音楽を楽しみより良い演奏をするために活動している。
19	自由工房	私達は壁面制作や工作をすることによるスキルアップを活動目的とし、地域の夏祭りや小学校での工作講座、ファミリーサポートセンターの壁面を飾り付けをすることにより、地域の方々や子どもとの交流も深めていくことができるよう、活動しています。
20	EXIA'S (エクシアズ)	バレーボールを通して、スポーツのマナーや礼儀を学ぶとともに、運動習慣を付ける。バレーボールの技術を向上させ、学外の大会で活躍するため。
21	M s i c (エムシック)	音楽好きが集まり、音楽鑑賞や音楽について話し合ったりして音楽意識を高めています。主に活動は学外ですが、学内で体育館を使い交流会を開いたりしています。
22	女子スポ同好会	私達は体を動かし先輩後輩関係なく、一緒になってスポーツを楽しめるようにすることを活動目標とする。
23	名芸討論部 めいろん(同好会)	討論やディベートを通してコミュニケーション能力を高めることによって就職試験や社会に出てから自分の考えをまとめて伝える力を身につけるため。
24	劇団プロローグ(同好会)	自らの表現力を高め、多様な感性を磨き、部員全員でひとつの作品を作り上げる。また、人間発達学部として、子ども達に生の演劇を見せて感動させたい。

# クラブ・同好会紹介 (西キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	T e n n i s 部	テニスを通じて体力の向上をはかるとともに、北名古屋市の主催する大会などに参加して地域との交流を深める。
2	G O N C E スキー部	スキーやその他のスポーツを通して、充実した学生生活を送ることにより心身ともに成長する。
3	着 付 け 部	着付けを通して日本の文化を学び、着物の作法等、日常生活や将来に役立つような活動を目的とする。また、着付けでコミュニケーションをはかり、親睦を深める。
4	空 手 道 部	空手を通じ心身を鍛えるとともに礼節や伝統を尊重する態度を養う。礼節、勇気、忍耐力、内省、克己、利也、協調性、思いやりなど社会的能力や高い徳性を養う豊かな人間教育を目的とする。
5	バ ト ミ ン ト ン 部	学年を超えて活動を共にすることで、上下関係、交友関係を広げる。週1～2回の活動で健康的に体を鍛え、体力をつけることを目的とする。
6	サ ッ カ ー 部	サッカーを通じて他学年、他学部との交流を深める。大会で優勝するという目標をもって努力する。
7	動 画 漫 画 研 究 部	芸大祭の催し物で出店するアニメ・特撮の制作、またコミックマーケットに向けての漫画制作、その他ギャラリーのイラスト展示会など様々な制作活動における交流や創造力の向上を目的とする。
8	写 真 部	写真技術の向上と写真表現の研究、写真部員同士による写真と美術、デザインに対する関わりの研究を目的とする。
9	自 由 音 楽 部	音楽を通じて仲間との交流を深める。また、クラブイベントという一つの目標に向かって日々努力し、成功させることにより、困難に立ち向かい壁を乗り越える力を養う。
10	軽 音 部	音楽を通じて違う学科の学生と交流を深め、大学生活を充実させることが目的。それぞれバンドを組み活動を行い、技術の上達、交流を深める。
11	陶 芸 部	自ら粘土を形成して陶磁器などを作ることにより、創作意欲を高め、それを自ら販売することで交流を深める。
12	サマータイムブルース(野球)部	社会人と野球をすることで社会との交流を深める。
13	版 画 部	版画コース以外の部員も工房を使い、展覧会の発表に向けて作品制作を行う。
14	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	週に2回バスケットを楽しむことで、主に試合形式でスポーツを楽しみます。
15	演 劇 部	芸大祭での演劇公演に向け柔軟体操、筋肉トレーニング、稽古に励む。
16	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	音楽活動を通じて、様々な人と交流を図る。ライブ活動を行い、音楽の技能の向上を楽しみながら目指す。
17	ス ト リ ー ト ダ ンス 部	ダンスという全身を動かすスポーツにより、心身のリフレッシュ、また体力の増進を主な目的とする。芸大祭においては、ステージでの演技発表を目的とする。
18	映 像 研 究 部	ここ数年、表現の幅が拡大している映像メディア。それを通じて個人にどのような影響があり、社会にはどんな変化があるのかを研究する。又、この研究において映像制作を行う。
19	チ ェ ア ー ズ	子どもと遊びについて考え、子供に物づくりの楽しさを知ってもらうことを目的とする。
20	造 形 研 究 部	多種多様な立体作品を制作、および披露する。授業では扱わないような内容を重点に切磋琢磨していく。
21	茶 道 部	茶の道を極め、精神と姿勢を正す。
22	SweetCandyBoys&Girls	アウトドアな活動に積極的に取り組み、自然のありがたみを体で感じる。
23	ウ イ ン ド サ ー フ ィ ン 部	ウインドサーフィンの技術の習得、マリンスポーツを通して自然に親しむ方法を身に付ける。仲間との親交を深める。
24	書 道 ア ー ト 部	書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探索し、書道の新たな可能性を提示していく。
25	ワンダーフォーゲル同好会	自然とふれあいを通して仲間との絆を深め、また協力することによって達成感を味わう。行く先々で出会う自然の風景のスケッチや写真撮影を行い、非日常的な体験を通じて完成を磨く。積極的に清掃山行にも参加し自然への理解を深め、自然災害に対する知識を身につける。
26	中 国 文 化 同 好 会	中国の文化・歴史・料理・娯楽を学び楽しむ会。国際交流を深め文化を学び、共に社会的成長をしていく。

## 親の想い

### 娘の将来について

音楽学部 演奏学科 総合コース  
4年 父 山田 貢

娘が名芸大に入学してから、あっという間に4年生。大学卒業後の進路が未だ定まらず、来年定年を迎える親としては、非常に不安である。

振り返ると、中学時代に一緒に観た「笑ってコラえての吹奏楽の旅」に感動し、ある私立高校の音の綺麗さに憧れ「将来吹奏楽の先生になる」という約束の下、その高校に行かせる事を許した。毎朝5時半に家を出ての練習。念願叶い高3年で「高校吹奏楽コンクール全国大会」の普門館の舞台に立ち、感動させられた。

声楽では、中学の第九でソリストとして立っているのに驚かされ、高校の声楽ゼミの先生からは「声楽」への進学を勧められ、楽器・声楽の両立可能な「音楽総合コース」ならと、名芸大受験を許可した経緯がある。

大学2年迄はホルンを主に、幸いにも1年からオーケストラメンバーに加えて頂いた。3年以降ホルンと声楽

を両立してきた中、どちらかと言うと声楽の評価が高いようで、大学オペラの一員として重要な役にも選ばれ、双方の間に迷惑にならないよう、時間調整に苦慮しながら努力している。

3年から始めた声楽は、未だ多くの勉強が必要なようで、素質はあるようだが、はたして世間に通用するレベルなのか？親として知りたい！

今後、高校・大学で真摯に学んできた楽器・声楽を活かせる音楽で、遠回りでも良いが、自分の将来を一番に考え、何がベストか？勇気を持ってアピールと考動し、近い将来、経済的に自立でき、音楽を通じささやかでも社会に貢献してくれたならば、なお嬉しい！

最後に、娘には音楽活動を通し、音楽の魅力を教えてくれたことへの感謝！と、同時に、一番のファンである事を知っていて欲しい！

なお、残念だったことは、大学在学中に、教員資格を取れなかったことが、心残りである。

### 「佑哉らしくあれ！」

人間発達学部 子ども発達学科  
2年 父 日比野弘嗣

小さかった息子がもう大学生になるとは、「早いなあ」というのが実感です。ここまで大きな怪我や病気をすること無く、成長してくれたことに感謝しています。

私たち夫婦は共働きで、名古屋市内で小さな幼稚園を開いています。ですので、子供たちは生まれてすぐに、「クーハン」(赤ちゃんが寝られる籐で出来たかご)に入れて毎日職場に連れて来ていました。仕事の性格上、わが子よりも預かっている子供たちが優先になり、わが子をかまってしまうことはできませんでした。幼稚園に入園してからも同じで、本人も小さいなりに、「親は先生」という意識があったのでしょうか。あまり近寄ってくることはありませんでした。小学校、中学校は野球に夢中になり、平日は部活、週末はクラブチームでの活動に没頭し、わが子ながらよくがんばるなあと感じるほどでした。

幼稚園は女性の職場で男手がありません。大きくなると、息子の力を借りたいことがよくあります。そんな時に手伝いを頼むと、どんなに忙しく疲れているときでも、嫌な顔ひとつせずいつも手伝ってくれました。それは今でも変わりません。そんな息子に私は一度もこの仕事を継いで欲しいと言ったことはありませんでしたが、高校で志望校を決める時に、教育系の学部へ進みたいと言ってくれた時には本当に嬉しかったです。

私もそうでしたが、いつも「幼稚園の子」というレッテルがついて回り、それがプレッシャーになることもあったでしょう。ある意味そんな特殊な環境の中で、暖かく、やさしく育てくれたと親として、ありがたく思っています。今、大学生になり、おそらくは人生の中で最も充実した楽しい時期を過ごしていると思います。この4年間を大いに楽しみ、いろいろなことを経験し、学んで欲しいと思っています。父としていつまでも君を応援しているよ。「佑哉らしくあれ！」

# 子の想い

## 今できることをしたい

美術学部 美術学科  
2年 佐藤春香

大学生生活1年半が過ぎました。振り返るとあっという間です。

普段の日本画制作では、いつも画材の扱いに悪戦苦闘しています。例えば、岩絵の具は粒子の大きさによって重ねたときの色味も違ってきます。1色の絵の具の準備や乾くまでに時間がかかり、塗ったときと乾いたあとの色も違います。また、1年生の頃、授業で前田青邨の「阿修羅」を模写しました。墨できれいな線を引くことに経験や集中力がどれだけ必要か、描いてみて初めて知りました。

最近の制作では、思い通りにいかず気が焦り、完成や理想ばかり追って、表現したいことを素直に追うこと自体が難しくなったりもしました。

大学に入り、初めての1人暮らしやバイトやサークル活動など、様々なことで自分の未熟さを知る日々です

が、今とても貴重な経験をさせていただいていると感じています。

日本画の先生達は、穏やかで誠実な方々ばかりです。いつも必要なときに真剣にアドバイスをくださいます。京都の絵具屋と墨屋の製作場見学では、真摯な職人の姿が見られてとても印象に残りました。お父さんが、私の鳥の絵の制作に合わせて、伊藤若冲の絵を見に岩手まで連れていってくれたこともありました。完成した絵を祖父が額装してくれ、祖母が買ってくれました。日本画やサークルの同級生や先輩後輩が制作に励む様子を見ると、モチベーションが上がります。これから10月にある芸大祭では、友人の企画してくれたグループ展で、個人制作の作品を展示する予定です。

振り返ると、色んな人から与えられてばかりです。2年生になってから、小中学生に教えるバイトを経験し、自分がどれだけ与えるものを持っていないか知りました。

大学生でいられるのは、残りたったの2年半です。入学時の、日本画制作に真摯に向き合うという1番の目的を忘れずに、本気で楽しみたいです。

---

---

## 大学生活と目標

人間発達学部 子ども発達学科  
2年 日比野佑哉

大学に入学してあっという間に1年半が経ちました。去年の4月、大学で自分はきちんとやっていけるかどうかとても不安だったころが懐かしく思えます。

ぼくは今充実した学生生活を送っています。

授業を受け、友達と楽しくご飯を食べ、授業後にはサークルをしたり、バイトをしたりと毎日がとても楽しいです。もちろん勉強や練習などがつらい時もあります。サークルやバイトでは怒られることもあります。それでも頑張って練習して褒められたり、努力が認められた時の達成感は何となく嬉しいですし、そのたびにまた頑張ろう、よし次も頑張るぞという気持ちになることができます。

ぼくの今の最終的な目標は小学校の教員になることです。

きっかけは自分が小学生だった時の担任の先生にここが、自分も先生のような人になりたい、先生のような仕事がしてみたいと思ったのがきっかけでした。今でもその気持ちは変わっていません。その先生はとても面白い先生で、子どもを笑顔にすることが上手な先生でした。クラスはいつも明るかったですし、自然と笑顔があふれるクラスで、ぼくも学校がとても楽しかったのを覚えています。ぼくもそんな先生になりたい。そのためには頑張って勉強しているいろいろなことを学び、そしていろいろなことを経験していかないといけないと思います。

正直今のぼくは勉強不足です。授業以外では勉強はあまりしていません。ですが、今、この瞬間から気持ちを改め頑張ろうと思います。もちろんサークルやバイトをないがしろにするつもりもありません。大学生活をもっと楽しく、かつ最終目標を達成できるように頑張りたいと思います。

2014年度

# 入学式



会場全体の様子

満開の桜が晴天の空に映える4月1日(火)、2014年度名古屋芸術大学入学式が本学西キャンパス体育館で行われました。大学院入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学研究科)と学部入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学部)が着席し、その保護者の方々や来賓の皆様をお迎えした会場で、開式に先立ち、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラにより、曲名:東京オリンピックファンファーレとオリンピックマーチ【指揮:竹内雅一(演奏学科教授)】が式前演奏されました。

定刻を迎え、開式のことばに続いて、竹本義明学長から学部・大学院入学生の「入学許可」が宣言されました。この後、学長が大学を代表して出席者に式辞を述べられました。学長は式辞の中で、「これまで文化・芸術は多くの人類共通の歴史



竹本学長による式辞

的遺産を創生してきましたが、現代社会の希薄な人間関係、脆弱化する地域コミュニティ、混迷する社会環境の中で、芸術が果たす役割に今まで以上に大きな期待が寄せられています。心に潤いを与える文化・芸術が社会から必要とされています。文化・芸術を学ぶことにより豊かな教養を身につけ、創造性、感性、そして発想力を高め、社会において必要とされるバランス感覚やコミュニケーション能力を兼ね備えることができます。入学された皆さんは、こうした認識に立ち、それぞれの専門性の追求に加え、異なるものが連携することで新たな創造性が生まれることも認識し、自ら境界線や限界線を引かず新しい発想を持って努力してください。皆さんは、今日から卒業後、修了後の自らの姿を思い描きながら、目標を持って大学生生活のスタートを切っていただきたい。」と激励



川村大介理事長祝辞

されました。続いて、入学生代表による宣誓が行われました。大学院の代表と、学部の代表の学生が力強く宣誓を行いました。

この後、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏からの挨拶がありました。

そして、ご出席の来賓の皆様のご紹介を行い、最後に、本学教員役職者を紹介して式典を終了しました。

式典終了後は、横山豊蘭氏による書道パフォーマンスが行われました。横山豊蘭氏は本学美術学部絵画科洋画2コースの卒業生で、書道家/アーティストとしてテレビ、雑誌など様々なメディアで活躍し、近年の書道ブームの先駆けとなっている方です。本学では「書道アート」の講義を担当されています。パフォーマンスは大書揮毫で、会場に用意された5m四方の大半紙に「感」の文字が揮毫されました。書き終わった大書が舞台上に吊り上げられると会場から大きな拍手が沸き起こっていました。

そして、再び、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラによる新入生歓迎演奏が行われました。竹内雅一氏の指揮により、ヤン・ヴァン・デル ロースト作曲「横浜音祭り序曲」が演奏されました。ウィンドオーケストラの力強い音色が会場一杯に響き、芸術大学にふさわしい趣のある入学式となりました。



ウィンドオーケストラの演奏

入学式終了後、同会場にて新入生を対象とした全体オリエンテーションが行われました。最初に菅嶋康浩学生部長より、お祝いの言葉と本学の様々なキャリアデザインプログラムの説明がありました。

その後、オープニングで力強いパフォーマンスを披露していただいた横山豊蘭氏(美術学部卒業生)から新入生への熱い想いと、人間発達学部第一期生の菅野謙一さんからのお祝いメッセージの手紙がありました。人間発達学部については、卒業生の有志による同窓会の立ち上げが進行役より発表され、菅野さんは会長に就任される予定です。

最後は音楽学部より、2組のグループから新入生へのはなむけの演奏がありました。1組目はジャズボーカリストとして活躍する西田 弓さ



音楽部卒業生によるライブ

ん(2011年度卒業生)とギタリスト成瀬 明さんのデュオに、パーカッショニストとして活躍する荒川琢哉さん(2010年度卒業生)が加わった3名で、「Smile」と「The Water is Wide」の2曲が披露されました。2組目は本学非常勤講師でもあり、同窓会会長でもある山田正丈氏と佐藤 真さん、月森貴之さん、西端祐哉さん、黒野啓介さんの5名による「O Sole Mio」がア・カペラで合唱され、会場からは盛大な拍手が起こりました。

また、卒業生のみなさんから、名古屋芸術大学で過ごした時間が忘れられない大切な時間であったことや、卒業後の活躍が伝えられました。最後に翌日からの予定が連絡され、オリエンテーションは幕を下ろしました。

# 2014年度 名古屋芸術大学音楽学部 演奏会案内

# CONCERTS GUIDE

## 7 July

### コンチェルトの夕べ

日 時/2014年7月17日(木) 18:30開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料 (全自由席)  
指 揮/古谷 誠一  
管 弦 楽/名古屋芸術大学オーケストラ

## 8 August

### 第16回ピアノサマーコンサート

日 時/2014年8月9日(土) 13:30開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### NUA Strings 第7回定期演奏会

日 時/2014年8月28日(木) 18:30開演予定  
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入 場 料/1,000円 (当日1,500円) 全自由席

## 9 September

### ウィンドオーケストラ第33回定期演奏会

日 時/2014年9月25日(木) 18:30開演予定  
会 場/日本特殊陶業市民会館フォレストホール  
入 場 料/無料 (全自由席)  
指 揮/ヤン・ヴァンデル ロースト  
竹内 雅一

## 10 October

### 研究生特別演奏会

日 時/2014年10月9日(木) 18:00開演予定  
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### 第22回ピアノの夕べ

日 時/2014年10月28日(火) 17:30開演予定  
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

## 11 November

### 音楽学部第37回定期演奏会

日 時/2014年11月20日(木) 18:00開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

## 12 December

### オーケストラ第32回定期演奏会

日 時/2014年12月4日(木) 18:45開演予定  
会 場/日本特殊陶業市民会館フォレストホール  
入 場 料/無料 (全自由席)  
指 揮/古谷 誠一

### 「Earth Echo」電子オルガンコース 第17回定期演奏会

日 時/2014年12月11日(木) 18:45開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

### 第33回室内楽の夕べ 小編成の部

日 時/2014年12月16日(火) 18:00開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

### 第33回室内楽の夕べ 大編成の部

日 時/2014年12月18日(木) 18:00開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

## 2 February

### 第13回 歌曲の夕べ

日 時/2015年2月3日(火) 18:00開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

### 研究生修了演奏会

日 時/2015年2月4日(水) 18:00開演予定  
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン 第16回定期演奏会

日 時/2015年2月14日(土) 18:15開演予定  
会 場/江南市民文化会館 大ホール  
入 場 料/無料 (全自由席)  
指 揮/ヤン・ヴァンデル ロースト  
小野川 昭博

### ピアノのしらべ 第19回 春のコンサート

日 時/2015年2月19日(木) 17:30開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

### 大学院音楽研究科特別演奏会

日 時/2015年2月20日(金) 17:30開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

### Kaleidoscope2015

日 時/2015年2月22日(日) 16:00開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### オペラ公演

日 時/2015年2月27日(金) 開演時間未定  
会 場/千種文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

日 時/2015年2月28日(土) 開演時間未定  
会 場/千種文化小劇場  
入 場 料/無料 (全自由席)

## 3 March

### 第17回大学院音楽研究科修了演奏会

日 時/2015年3月4日(水) 17:30開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

日 時/2015年3月5日(木) 18:00開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### ミュージカル公演

日 時/2015年3月12日(木) 18:00開演予定  
会 場/アートピアホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### 第42回卒業演奏会

日 時/2015年3月13日(金) 17:00開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料 (全自由席)

### ■チケットお取扱い場所

名古屋芸術大学音楽学部演奏課  
Tel. 0568-24-5141  
名古屋音楽学校  
Tel. 052-973-3456  
愛知芸術文化センター B2F プレイガイド  
Tel. 052-972-0430  
ヤマハミュージック東海名古屋支店プレイガイド  
Tel. 052-201-5152  
カワイ名古屋  
Tel. 052-962-3939

一部取り扱いない演奏会がございます

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。入場無料の公演は、整理券を発行します。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学音楽学部演奏課 ■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井 281 ■Tel 0568-24-5141

上記の内容は2014年7月6日現在のものです

## TOPICS *pick up*

### 【速報!】音楽学部到新コース誕生!!

2015年4月。名古屋芸術大学 音楽学部 音楽文化創造学科に

「エンターテインメントディレクションコース」が誕生します!!

「音楽を聞く」という時代から、「音楽を見る」「音楽に参加する」という時代になりました。そこで名古屋芸術大学では、最近ミュージックシーンに誕生したディレクター、プランナー、音響オペレーター、照明オペレーターなどの舞台制作に関わる総合スペシャリスト養成コースを新設します。

また、8月13日(水)から8月19日(火)までの期間限定で、名古屋駅、名鉄メンズ館前のナナちゃん人形が、新設する「エンターテインメントディレクションコース」仕様になりました。ナナちゃんにも少しの間、本学の広報部員になっていただきました。ナナちゃんはアイドルという設定で、小さな黒子がナナちゃんに群がってサポートしていました。

新コースの詳細は、  
こちらのホームページをご参照ください。  
<http://www.nua.ac.jp/headline/9587.html>



2015年4月。名古屋芸術大学 音楽学部 音楽文化創造学科に「エンターテインメントディレクションコース」が誕生します!



変身したナナちゃん人形

### 美術学部 旧加藤邸アートプロジェクト2014『記憶の庭で遊ぶ』

明治時代に建てられた国登録有形文化財『旧加藤家住宅』は、日本の民家や生活様式の伝統が息づいています。ここには北名古屋市が運営する『回想法センター』が併設され、市民の記憶を喚起する様々な活動が行われています。この建物や庭に名古屋芸術大学の学生・卒業生、教員によるアート作品を展示します。

テーマを『記憶の庭で遊ぶ』とし、各自の芸術を探究する学生や卒業生たちが、この旧加藤家住宅という場から触発された発想やイメージを、どのような造形としてこの場の記憶を新たにすることを目的とした展覧会です。今年度は、美術学部、デザイン学部、音楽学部から18組が出品することになりました。

出品者は以下の方々です。

- 浅井和真 [美術学部陶芸コース4年]
- 阿部大介 [美術学部版画コース非常勤講師]
- 飯田崇嗣 [美術学部大学院造形研究(ガラス)1年]
- 伊藤孝子 [音楽学部音楽文化創造学科准教授]
- 稲餅理絵 [美術学部アートクリエイターコース研究生]
- 川崎和美 [デザイン学部大学院クラフトデザイン研究(メタル&ジュエリー)2年]
- 三枝由季 [美術学部洋画コース卒]
- 酒井智也 [美術学部陶芸コース4年]
- 鈴木恵実 [美術学部アートクリエイターコース研究生修了/アートクリエイターコース非常勤職員]
- ちとせぶん [美術学部日本画コース3年7名によるユニット]
- 塚田茉生 [デザイン学部メタル&ジュエリーコース4年]
- 道楽同盟 (佐竹祐太、増成峻平)[美術学部立体造形コース卒2名によるユニット]
- 富島李佳 [美術学部洋画コース卒]
- 西出真美 [美術学部洋画コース卒]
- 日栄一雅 [音楽学部音楽文化創造学科非常勤講師]
- 藤井美里 [デザイン学部メタル&ジュエリーコース卒]
- 宮脇由衣 [美術学部洋画2コース4年]
- 山口昇悟 [美術学部大学院同時代表現研究1年]

#### ■展覧会期

2014年11月15日(土)~23日(日)

#### ■会場

旧加藤家住宅(国登録有形文化財)  
北名古屋市六ツ師704-1

#### ■企画

旧加藤邸アートプロジェクト2014運営委員会

#### ■主催

名古屋芸術大学美術学部、北名古屋市教育委員会

#### ■後援

名古屋芸術大学後援会、名古屋芸術大学美術研究所

#### ■問い合わせ先

名古屋芸術大学美術学部アートクリエイターコース(担当:西村正幸)  
TEL: 0568-24-0325 (内線639)  
e-mail: capractice@nua.ac.jp

#### 前回(2012年)展示風景



## デザイン学部

### 津島市×名古屋芸術大学 官学連携プロジェクト

#### 「ふれあいバスの車窓から」作品のプレゼンテーションが行われました

2014年度デザイン実技Ⅲ-2の授業(地域活性化ポスターの制作:永井瀧登講師)は、特定の地域を題材として、その地域の活性化の助力となるポスターを制作。課題を通して、マーケティングから企画立案、表現案の構築、プレゼンテーションまでの一連のプロセスの習得を目指しています。この授業で、本年度も4月から愛知県の津島市市長公室企画政策課とタイアップしたプロジェクトとして「ふれあいバスの車窓から」「ふれあいバス(津島市が運行している巡回バスの愛称)」の利用促進イメージビジュアルの考察』に取り組んでいて、本講座受講生による作品のプレゼンテーションが7月3日(木)、本学西キャンパスのX棟で開催されました。

津島市役所からは市長公室企画政策課長安藤公一氏と、企画政策課行政経営グループ補佐市川記世子氏が来られて、まず学生達の作品がテーブルに一堂に並べられた後、永井講師によるプレゼンの進め方についての説明があり、さっそくプレゼンテーションに入りました。冒頭に、安藤課長から挨拶が行われ、「今年も皆さんの作品を拝見するのを大変楽しみにしています」とのお話がありました。この後名簿順に、学生たちが一人ずつ自分の作品についてプレゼンテーションしました。内容は、テーマやコンセプトについての解説、具体的なビジュアル内容、また、なぜ、これらを取り上げたかなど、その背景や理由などを説明しました。

学生の説明の後、安藤氏と市川氏が交互に質問やコメントをする、といったかたちでプレゼンが進行しました。ビジュアルデザインコース3年生全員がプレゼンをして予定を終了しました。学生たちは、指摘された点などを踏まえて修正し、「作品説明シート」を作成して作品を完成させます。7月22日(火)から25日(金)まで、作品の展示会が、ヨシツヤ津島本店で開催され、来場者による作品の人気投票が行われました。

また、ふれあいバス車内展示は、8月4日(月)～9月13日(土)まで、2週間ごとに(隔週日曜日に入れ替えて)行われました。



プレゼン会場の様子



テーブル一杯に並べられた作品



自作をプレゼンする学生

## 人間発達学部 文化創造セミナーが開催されました

2014年6月7日(土)、本学東キャンパス3号館ホールで、天野ひかり氏を講師に迎えた人間発達学部文化創造セミナーが開催されました。天野氏は愛知県岡崎市の出身。上智大学を卒業後、テレビ愛知アナウンサーを経て、NHKの教育テレビ(Eテレ)で子育て番組『すくすく子育て』のキャスターを務めるなど、現在も活動の幅を広げられています。また、NPO法人親子コミュニケーションラボ代表理事として、親子で、子どもの気持ちをことばに換えて表現する力「おやこみゆ力」を育むための講座やイベントなどにも取り組んでいます。著書には「天野ひかりのハッピーのびのび子育て」(辰巳出版社)などがあります。

セミナーは「子どものコミュニケーション力を育むために」をテーマに、子どもの心に届く「ことばかけ」の仕方を、グループワークやイメージング、ケーススタディ、表情遊びなどを通して、参加者は楽しみながら学ぶことができました。

最初に「子育てで一番大切なことは？」という天野氏からの問いかけに対し、参加者全員が12のグループに分かれ、グループごとに話し合った結果を発表しました。「コミュニケーションが取れる子どもに育てる」や「子どもに共感する」、「子どもの感性を尊重する」など、学生たちの優しき溢れる回答に、天野氏の表情にも笑顔がこぼれました。続くイメージングでは、目を閉じて隣の人と手をつなぎ、次のようなシーンを頭に思い浮かべます。「器をイメージしてそこにゆっくりと水を注ぎます。いっぱいになった水はふわりと溢れました。」この中でいう器とは子どもの脳のことで、水は子どもが育つうえで必要な知識や情報、モラルのこと。世の親たちは大切な器を育てるよりも、水を注ぐことばかりに熱心だとし、親や先生の役目は子どもの器を大きく、深くすることだと天野氏は説明しました。

その子どもの器(脳・心)を育むのに有効なのが、大人からの毎日の「ことばかけ」です。そのことばかけにはコツがあり、コツをつかむのに最適な、4つのケーススタディを通じてことばかけの活用方法を学びました。他にも、よく親が口にする「○○しないで!」や「○○しないで!」といった禁止と指示が、子どもたちのコミュニケーション能力を奪っていることや、「Let's」を使って「いっしょに○○しようよ!」の活用法について学びました。さらに、小さい子どもは大人の表情に敏感なので、ことばと表情を一致させるための表情遊び「まねっこまねっこどんな顔?」を会場の全員と行いました。「子どもにとって一番怖い顔は無表情です。学生の皆さんが子どもたちに接する際は、無表情にはならないように注意してください。」と天野氏はアドバイスしました。このセミナーの中で「子どもの正しいほめ方、しかり方」についての説明がありました。「子どもをほめたり、しかつたりする際は、子どもの能力を決めつける言い方はせず、代りに行動をほめたり、しかつたりするのがポイントです。また、他の子と比較するのではなく、過去のその子と比較してほめる、しかるが効果的。できない事をしかるより、できた事をほめるようにしましょう。」これから子どもたちと接する現場に進む人間発達学部の学生たちにとって、とても参考となるアドバイスでした。

最後に「これから皆さんが出会う子どもたちは40年後の日本を支える人たちです。その子どもたちと接して育むというのは未来を創る仕事です。誇りを持って素敵な仕事をしていってください。」と学生たちにエールを送りこの文化創造セミナーを終えられました。



天野ひかり氏



イメージングを実施する学生たち



グループセッションの結果を発表する学生

## アート&デザインセンター 2014/2015 展覧会スケジュール

2014	
4月1日(火)～4月16日(水)	2013年度デザイン学部レビュー選抜展
4月18日(金)～4月23日(水)	シャバラゲ
//	Accessible
4月25日(金)～5月7日(水)	写真部春展 photonomix
5月9日(金)～5月14日(水)	名古屋芸術大学 美術・デザイン学部OB・OG展 前半
//	Milano Salone project 2014
//	仮:人と人
5月16日(金)～5月21日(水)	名古屋芸術大学 美術・デザイン学部OB・OG展 後半
//	komekami(仮)
//	「五月病」展
5月23日(金)～5月28日(水)	peace nine2014
//	版画コース・コレクション展
5月30日(金)～6月4日(水)	創作折紙作品展
//	第5回神戸コレクション展
//	嘯
6月6日(金)～6月11日(水)	From Denmark 2014 展
6月13日(金)～6月18日(水)	名古屋芸術大学 教員展
6月20日(金)～6月25日(水)	洋画1 コース3年展
6月27日(金)～7月2日(水)	名古屋芸術大学 デザイン学部助手展(仮)
7月4日(金)～7月9日(水)	Preparation 展
7月11日(金)～7月16日(水)	2014年度前期留学生作品展
7月18日(金)～7月23日(水)	スペースデザインコース コース展「くうねるところにすむところ」展
//	「The Five Senses」<アート&デザインコミュニケーション演習>院生展
//	No Reason:Have Result 展
7月25日(土)～8月6日(水)	素材展(メタル&ジュエリーコース・テキスタイルデザインコース前期制作展)
9月19日(金)～9月24日(水)	彫刻展 名古屋芸術大学彫刻コース展
9月26日(金)～10月1日(水)	美術学部前期終了学生作品選抜展
10月3日(金)～10月8日(水)	書道アート展
//	名古屋芸術大学大学院 洋画制作2014
10月10日(金)～10月15日(水)	『幼稚園児たちのゲイジツ』展
//	『Hand Hospeace :医療と美術 2014』展
10月17日(金)～10月29日(金)	2014年度企画展 多彩なデザインの現場から —名古屋芸術大学デザイン学部特別客員教授関連プログラム展—
10月31日(金)～11月5日(水)	ア”ーッ!ラジオ&名古屋芸術大学大学院同時代表現研究 <洋画>京都造形芸術大学大学院PrPROJECT交流選抜展
11月7日(金)～11月19日(水)	2014年度企画展 SHOBU STYLE ～工房しょうぶの仕事～
11月21日(金)～11月26日(水)	MCD デパートメント
11月28日(金)～12月3日(水)	Media Live/メディアデザインコース展
12月5日(金)～12月10日(水)	美術学部 洋画2コース選抜展(仮称)
//	ラスト・プレパ展
12月12日(金)～12月17日(水)	こどもの空間 絵本と椅子
//	2014年度後期留学生作品展
12月19日(金)～12月24日(水)	ガラス・陶芸コース 2・3年生合同展覧会
2015	
1月9日(金)～1月14日(水)	日本画3年作品展
//	漫研展覧会(仮)
1月16日(金)～1月21日(水)	美術学部コース展
3月3日(火)～3月8日(日)	卒業制作展

\*都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

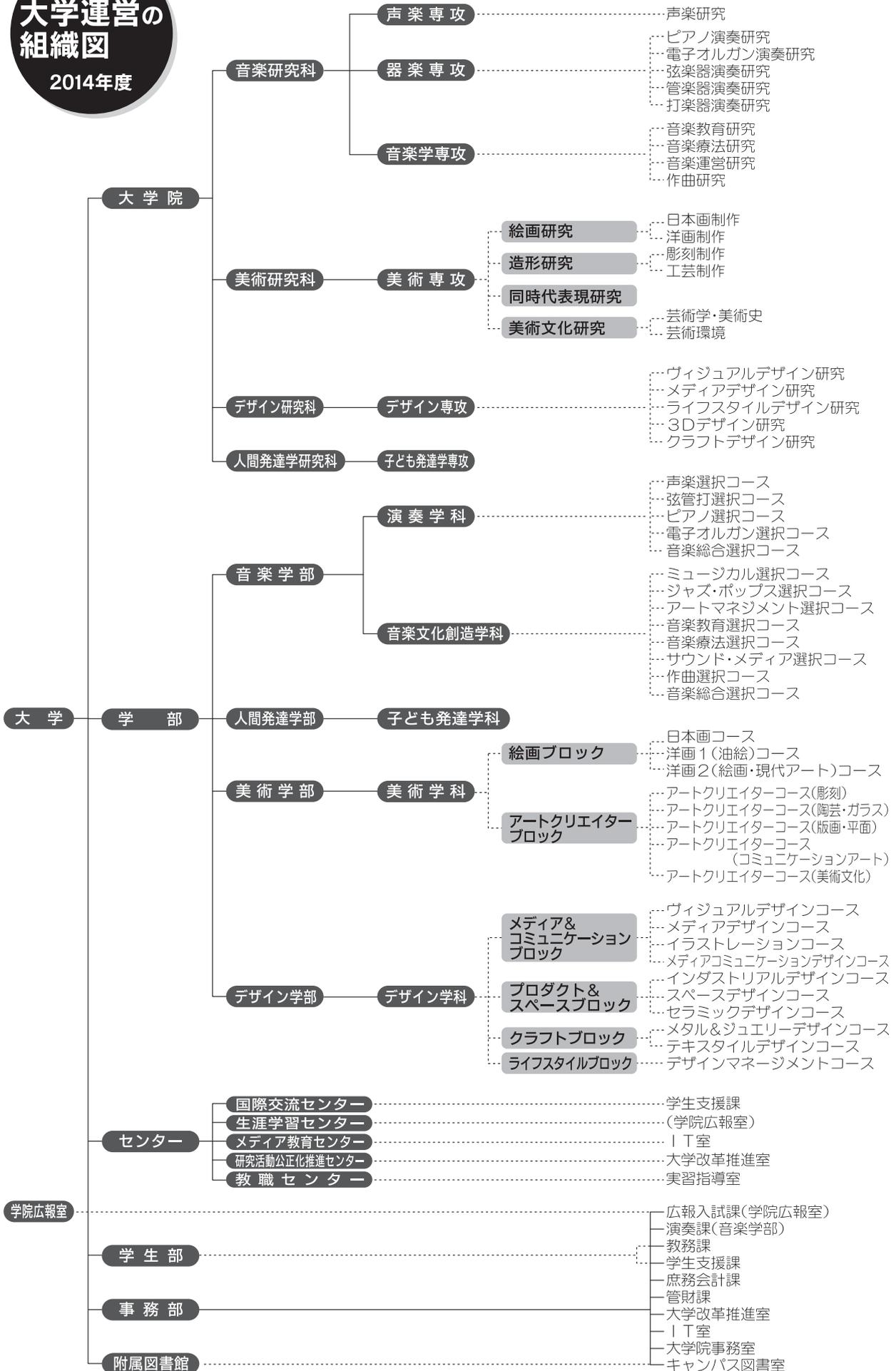
### Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市長重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

# 大学運営の組織図

2014年度



# 後援会学費貸付事業

日本経済も長く続いた不況をようやく抜け出すような気配が感じられますが、まだまだ本当の回復とはいかない状況が続いています。このような状況の中、保護者が亡くなられたり、病気や失業されたりしたご家族は大変だと思います。こういったことに対して少しでも助けになればと始められたのが、この学費貸付事業です。後援会の皆様の会費を基金にしているため、貸付を受けるにはいくつかの条件がありますが、本規程をお読みいただき学費貸付事業を活用していただけたらと思います。申込み受付は各キャンパス学生支援課となっています。気楽に相談してみてください。（※2011年度より内規にて貸付対象者は最高学年在学者としています。）

## 名古屋芸術大学・大学院後援会学費資金等の貸付規程

### （目的）

第1条 名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「後援会」という。）が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

### （定義）

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学・大学院後援会学費貸与生（以下「貸与生」という。）と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学・大学院後援会貸付金とする。

### （資金）

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。

- (1)後援会学費貸付口座預金
- (2)この規程に基づく返還金
- (3)寄付金・その他の収入

### （貸付額）

第4条 該当年度の学生納付金半期分以内とする。

- 2 貸付金は無利息とする。
- 3 未返還金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

### （貸付方法）

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

### （審議）

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

### （貸与生の決定）

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

### （貸与生の選考基準）

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。

- (1)1年以上継続した本会会員の子弟であること。
- (2)家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。
- (3)応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。
- (4)修学に十分耐うるものと認められること。

### （申請手続）

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

なお、手続は学生支援課を窓口とする。

- (1)後援会貸付金借用願
- (2)貸付金返済計画書
- (3)学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書
- (4)学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

### （借用手続・借用証書）

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1)借用証書（借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する）
- (2)貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3)銀行口座振替依頼書（自動送金サービス用）（学籍を離れる時に提出するものとする）

### （返還及期間）

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。

- 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。
- 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。
- 4 返還は、学生支援課を窓口とする。

### （返還猶予）

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

### （権限委任）

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

### （改廃）

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

### 附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

# 名古屋芸術大学・大学院後援会会則

第1条 本会は名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。

第2条 本会は名古屋芸術大学・大学院の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
- (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
- (3) その他本会の目的達成に必要なと認める事業。

第4条 本会は名古屋芸術大学・大学院学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。

第5条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名

第6条 本会の役員選出は次の方法による。

- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
- (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
- (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。

第7条 本会役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
- (2) 監事は会務を監査する。
- (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。

第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。

第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。

第10条 総会は次の事項を審議・決定する。

- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
- (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
- (3) 役員の選出、その他の役員が必要と認めた事項。

第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。

第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。

第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。

- (1) 総務委員会
- (2) 事業委員会
- (3) 広報委員会

第14条 委員会に、委員長1名、副委員長2名および委員若干名をおく。

- 2 委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は委員会の同意を得て会長が指名する。

第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。

第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。大学院生は年額10,000円とする。

第17条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

第18条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。

- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
  - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
  - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
  - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
  - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。

## 名古屋芸術大学・大学院後援会の甲意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、甲慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、甲慰金5,000円を給付する。
3. 役員のうち親等血族および親等の姻族が死亡した場合は、甲慰金として5,000円を給付する。
4. 甲慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

## 名古屋芸術大学・大学院後援会顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学・大学院の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年（平成17年）4月1日から適用する。

# 学校法人名古屋自由学院決算報告

## 平成25年度 消費収支計算書

(単位：千円 四捨五入)

科 目	24 年 度	25 年 度	前年度比較
<b>【消費収入の部】</b>			
学生生徒等納付金	3,739,586	3,497,432	△242,154
補助金	391,796	345,309	△46,487
その他	429,782	307,277	△122,505
A 帰 属 収 入 計	4,561,164	4,150,018	△411,146
基 本 金 組 入 額	△113,756	0	113,756
B 消 費 収 入 の 部 合 計	4,447,408	4,150,018	△297,390
<b>【消費支出の部】</b>			
人件費	2,882,635	2,812,676	△69,959
教育研究経費	1,376,934	1,370,460	△6,474
管理経費	455,493	455,668	175
その他	80,781	108,306	27,525
C 消 費 支 出 の 部 合 計	4,795,843	4,747,110	△48,733
A - C 当年度帰属収支差額	△234,679	△597,092	△362,413
B - C 当年度消費収支差額	△348,435	△597,092	△248,657
基 本 金 取 崩 額	0	0	0

消費収入の部は、学納金・補助金ともに前年度を下回った結果、帰属収入合計は41億5,000万円（前年度比4億1,115万円減少）となりました。基本金組入額は、取崩額が上回ったため今回はなく、消費収入の部合計は帰属収入合計と同額となりました。

消費支出の部は、人件費28億1,268万円、教育研究経費13億7,046万円、管理経費4億5,567万円、消費支出の部合計は47億4,711万円（前年度比4,873万円減少）となりました。

当年度帰属収支差額は5億9,709万円の支出超過（当年度消費収支差額も同じ）となりました。

## 平成25年度 貸借対照表

(単位：千円 四捨五入)

科 目	25年3月31日現在	26年3月31日現在	前年度比較
<b>【資産の部】</b>			
固定資産	16,745,497	16,335,344	△410,153
流動資産	2,595,673	2,227,451	△368,222
資産の部合計	19,341,170	18,562,796	△778,374
<b>【負債・基本金・消費収支差額の部】</b>			
固定負債	1,355,421	1,319,707	△35,714
流動負債	986,292	840,723	△145,569
負債の部合計	2,341,713	2,160,430	△181,283
基本金の部合計	20,543,854	20,371,223	△172,631
消費収支差額の部合計	△3,544,397	△3,968,858	△424,461
負債・基本金・消費収支差額信合計	19,341,170	18,562,796	△778,374

資産の部合計は185億6,280万円（前年度比7億7,837万円減少）、負債の部合計は21億6,043万円（前年度比1億8,128万円減少）、基本金の部合計は203億7,122万円（前年度比1億7,263万円減少）、消費収支差額は39億6,886万円の支出超過となりました。

※詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。



